



**HP Vectra VL
シリーズ 8**

**アップグレード/メンテナンス・
ガイド**

ご注意

本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

本書に記載した内容は、特定の目的に対する商品性や適合性を保証するものではなく、当社はそれらに関して責任を負いません。また、本書の記載の誤り、あるいは本書の配布、内容、利用にともなって生じる偶発的、結果的損害に関して責任を負いません。

本書の内容は、著作権によって保護されています。本書の一部または全部を書面による事前の許可なくして複写、転載、翻訳することは禁止されています。

Matrox[®] は、Matrox Electronics Systems Ltd. の登録商標です。

Adobe[™] および Acrobat[™] は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Kensington[™] は、Kensington Microware Ltd. の商標です。

Microsoft[®]、MS[®]、MS-DOS[®]、Windows[®]、および Windows NT[®] は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

Pentium[®] は、Intel Corporation の米国における登録商標です。

Hewlett-Packard France
Corporate Desktop Computing Division
38053 Grenoble Cedex 9
France

© 1998 日本ヒューレット・パカード株式会社

© 1998 Hewlett-Packard Company

アップグレード/メンテナンス・ガイド

本書をお読みになる方へ

本書は、次の項目について説明しています。

- 設定方法
- アクセサリのインストール方法
- トラブルシューティング
- 詳しい情報とサポートの入手方法

PCのセットアップと使用方法については、本PCに付属の『ユーザーズ・ガイド』を参照してください。また本ガイドは下記のHP Webサイトからもダウンロードが可能です。

<http://www.hp.com/go/vectrasupport/>

安全性についての重要事項

警告

PCやディスプレイを一人で持ち上げられないようなときは、必ず誰かに手伝ってもらってください。

安全のため、電源コードは必ずアース付きのコンセントに接続してください。電源コードは、本製品に付属のものか、国内の規格に合ったアース・プラグ付きのものを使用してください。本製品を電源から遮断するには電源コードをコンセントから抜く必要があります。本製品は、コンセントにすぐ手が届くようにコンセントの近くに設置してください。

安全のため、カバーを取り外す場合は、必ずコンセントから電源コードを取り外し、通信ネットワークへの接続も切り離してください。また、必ずPCにカバーを取り付けてから電源スイッチを入れてください。感電防止のため、電源装置は決して開けないでください。

本PCは、クラス1レーザ製品です。レーザ・ユニットの調整は行わないでください。

ダウンロード可能なドキュメンテーション・キット (MIS Kit)

HPのWebサイトからは本PC用のマニュアルが入ったMIS Kitをダウンロードすることができます。このキットには、MIS(Management Information Services)管理にご使用いただくための技術関連マニュアルが収録されています。

これらのマニュアルは、Adobe Acrobat(PDF)フォーマットで提供されます。

本PCのMIS Kitは、次のHP Webサイトから無償でダウンロードできます。

<http://www.hp.com/go/vectrasupport/>

MIS Kitの内容

- 『Using Sound』 設定およびトラブルシューティング情報をはじめ、本PCのサウンド・システムの活用方法を説明します(マルチメディア・モデルの場合、ハードディスク・ドライブにもインストールされています)。
- 『ユーザーズ・ガイド』 PCのセットアップ方法について詳しく説明しています。また、アクセサリの増設およびトラブルシューティングについても簡単に説明しています。
- 『アップグレード/メンテナンス・ガイド』 本書
- 『Familiarization Guide』 サポート/保守担当者の方を対象としたトレーニング情報
- 『Service Handbook』 HPパーツ番号をはじめ、増設および交換用部品に関する情報
- 『Network Administrators Guide』 ネットワーク管理者の方を対象としたドライバのインストール情報

この他に、HPではサービスおよびサポートに関する幅広い情報をWeb上で提供しております。次のHP Webサイトにアクセスしてご覧ください。

<http://www.hp.com/go/vectra/>

ダウンロード可能なドキュメンテーション・キット (MIS Kit)

本書をお読みになる方へ.....iv	iv
安全性に関する重要事項.....iv	iv

1 アクセサリのインストール方法

インストールできるアクセサリ.....2	2
カバーの取り外しと取り付け.....3	3
カバーの取り外し.....3	3
アクセサリをインストールした後のカバーの取り付け.....4	4
エアフロー・ガイドの取り外しと取り付け.....5	5
エアフロー・ガイドを取り付けるには.....5	5
メモリのインストール.....6	6
メイン・メモリのインストール.....6	6
大容量記憶装置のインストール.....8	8
デバイスの接続.....18	18
インストール後のIDEデバイスの設定.....11	11
3.5インチIDEハードディスク・ドライブのインストール.....12	12
5.25インチ・ハードディスク・ドライブのインストール.....14	14
Zipドライブ、CD-ROMドライブ、テープ・ドライブのインストール.....17	17
アクセサリ・ボードのインストール.....19	19
アクセサリ・ボード・スロット.....19	19
Setupプログラムで使用するPCIスロット番号.....20	20
アクセサリ・ボードのインストール.....21	21
Plug and Play対応アクセサリ・ボードの設定.....24	24

Plug and Play非対応ISA アクセサリ・ボードの設定	25
バッテリーの交換	26
セキュリティ・ケーブルの取り付け	28

2 セキュリティ機能

パスワードの設定	30
使用上のヒント	30
管理者パスワードの設定	31
ユーザ・パスワードの設定	32
HP TopTools によるハードウェア監視機能	33
Master Pass Key System	34

3 トラブルシューティング

HP Setup プログラム	36
デバイスのブート順.....	37
Current Startup Boot メニュー (現在の起動に限ったブート・メニュー).....	37
デフォルト起動用 Boot メニュー	37
ハードディスク・ドライブ用 Boot メニュー	37
HP DiagTools ハードウェア診断ユーティリティ	39
PC が起動できないとき	41
画面に何も表示されず、エラー・メッセージもない	41
POST エラー・メッセージが表示される	44
設定メモリのクリア	44
PC をオフにできないとき	46

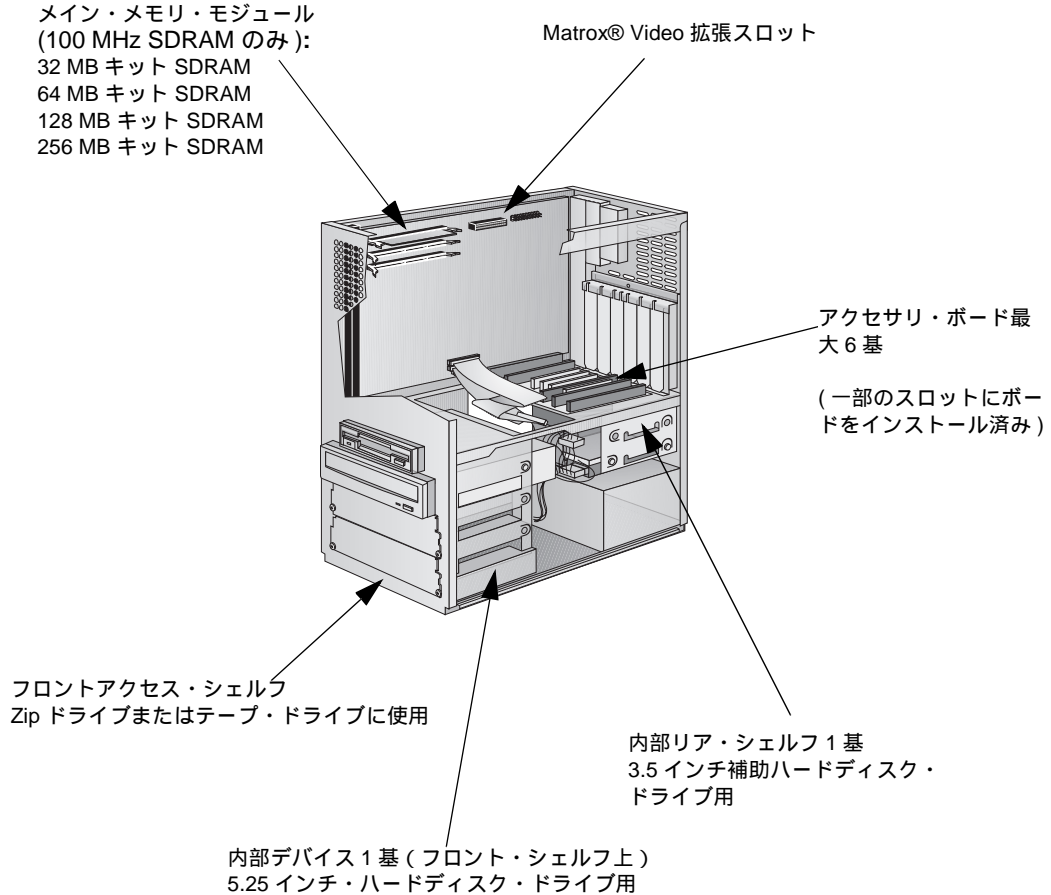
ハードウェアに問題があるとき	46
ディスプレイが動作しない	46
その他のディスプレイの問題	47
キーボードが動作しない	47
マウスが動作しない	48
プリンタが動作しない	49
フロッピーディスク・ドライブが動作しない	49
ハードディスクが動作しない	50
CD-ROMドライブに問題があるとき	50
CD-ROMが動作しない	51
CD-ROM ドライブがアイドル	51
CD-ROMドライブのドアが開かない	52
アクセサリ・ボードが動作しない	52
パスワードを忘れたとき	53
PCI WakeUp機能が動作しないとき	54
IRQの設定に問題があるとき (サウンド・ボードをインストールした場合)	54
ソフトウェアに問題があるとき	55
アプリケーション・ソフトウェアが動作しない	55
日付と時刻が間違っている	55
オーディオに問題があるとき	56
技術情報	58
システム・ボード・スイッチ	58

電力消費	59
ISA アクセサリ・スロットに対する標準的な電力消費/使用可能電力	59
PCI アクセサリ・スロットに対する標準的な電力消費/使用可能電力	59
音響ノイズ・エミッション	59
物理的特性	60
本PCが使用するIRQ、DMA、I/Oアドレス	61
HPサポートおよびインフォメーション・サービス	63

アクセサリのインストール方法

本章では増設メモリ、アクセサリ・ボードおよびディスク・ドライブなどのアクセサリのインストールについて詳しく説明します。

インストールできるアクセサリ



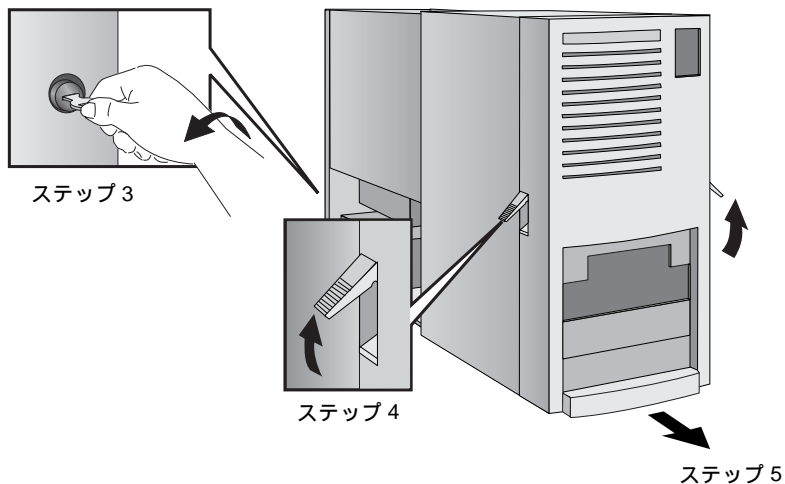
カバーの取り外しと取り付け

警告

安全のため、PCのカバーを取り外す前に必ずコンセントから電源コードを外し、通信ネットワークへの接続を外してください。また必ず、PC本体にカバーを取り付けてからPCのスイッチを入れてください。

カバーの取り外し

- 1 ディスプレイとPC本体の電源をオフにします。
- 2 電源コードと通信ケーブル等をすべて取り外します。
- 3 必要に応じて、付属のキーを使用してPC背面のロックを解除し、カバーを取り外します。
- 4 PC側面の2つのラッチを上げます。
- 5 カバーを手前に引き出して取り外します。

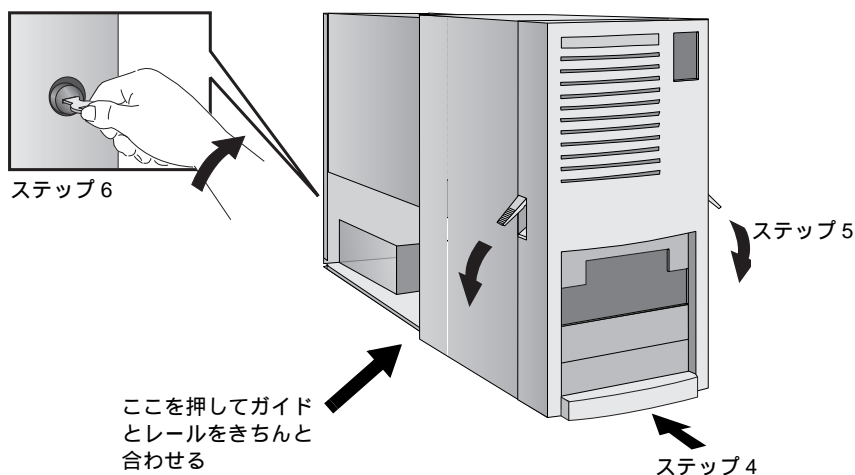


1 アクセサリのインストール方法

カバーの取り外しと取り付け

アクセサリをインストールした後のカバーの取り付け

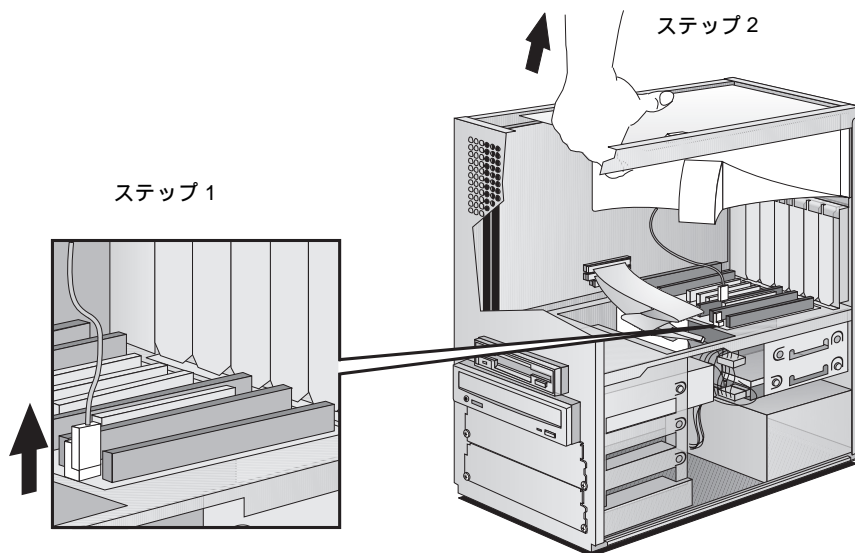
- 1 すべてのアクセサリのインストールが完了したことを確認します。内部ケーブルの接続や配線状態が適切かどうか確認します。
- 2 カバー両側の2つのラッチが上がった状態で、カバーのロックが解除されていることを確認します。
- 3 カバーをPC本体にかぶせ、所定の位置までスライドさせます。このとき、カバー下部のガイドが、本体底面のレール上をスライドすることを確認します。カバーを最終位置まで確実にスライドさせます。
- 4 カバー両側の2つのラッチを下げます。
- 5 必要に応じて、付属のキーを使用してPC背面のキーロックを回し、カバーをロックします。電源コードを接続します。
- 6 電源コードを接続します。



エアフロー・ガイドの取り外しと取り付け

本PCには、プロセッサなど主要コンポーネントからの熱を放出するためのエアフロー・ガイドが装着されています。プロセッサ、システム・ボード・スイッチ、バッテリー、およびアクセサリ・ボードに対して作業を行うには、このガイドを取り外す必要があります。

- 1 エアフロー・ガイドには、内蔵のファンと電源ケーブルが付いています。エアフロー・ガイドを取り外す前に、バックプレーンからケーブルを外しておいてください。
- 2 エアフロー・ガイドのフロント部分を持ち上げて、PC本体から取り外します。



注記

本PCのエアフロー・ガイドは、図中のものと異なる場合があります。

エアフロー・ガイドを取り付けるには

- 1 エアフロー・ガイドを背面から先にコンピュータ本体に差し込み、ヒンジに掛けて所定の位置まで下ろします。
- 2 エアフロー・ガイドのケーブルをバックプレーンに接続します。

メモリのインストール

注意

静電気によって、電子部品が損傷を受けることがあります。この作業中はすべての装置の電源を切り、また衣服がアクセサリに触れないようにしてください。静電気の影響を避けるため、アクセサリを包みから取り出すときは、PC本体の上に置いてください。また、アクセサリにはなるべく手を触れず、取り扱いに十分注意してください。

メイン・メモリのインストール

本PCにはすでにメイン・メモリがインストールされています。アプリケーションに合わせてメモリを増設する場合は、合計768 MB(256 MB × 3)までインストールできます。

メイン・メモリには、32 MB、64 MB、128 MBまたは256 MBモジュールを使用できます。メモリ・バンクは3つあり、それぞれのバンクにはメモリ・モジュールが1枚ずつ必要です。

バンク	インストールできるメモリ・モジュール
上	32 MB, 64 MB, 128 MB, または 256 MB 100 MHz SDRAMモジュール 通常、32 MBまたは64 MBのモジュールをインストール済み
中央	32 MB, 64 MB, 128 MB, または 256 MB 100 MHz SDRAM モジュール
下	32 MB, 64 MB, 128 MB, または 256 MB 100 MHz SDRAM モジュール

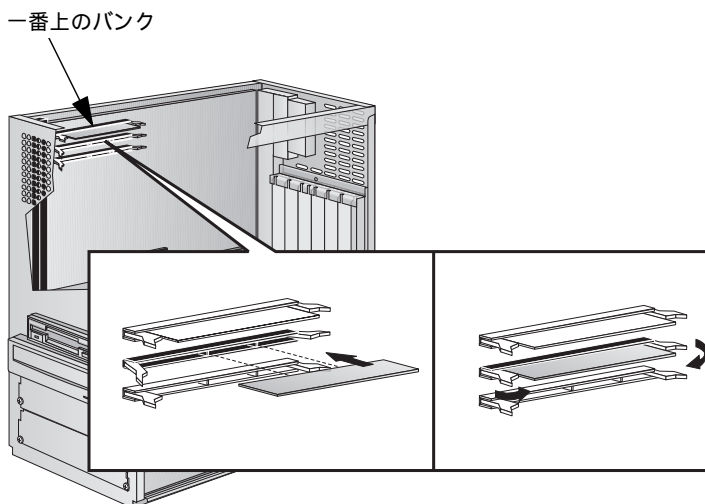
注記

メモリは上のバンクから下のバンクへ順々にインストールしてください。

メモリはECCモジュールと非ECCモジュールを組み合わせで装着することもできます。ただし、非ECCモジュールが使用された場合、他のモジュールも非ECCとして機能することになります。

メイン・メモリ・モジュールをインストールするには

- 1 PC本体から電源コード、通信ネットワークへの接続等を取り外します。
- 2 PC本体のカバーを取り外します。
- 3 メモリ・モジュールのコネクタをスロットのソケットに合わせます。次にモジュールをシステム・ボードに対して垂直に差し込みます。



注記

メイン・メモリ・モジュールを取り外す場合、取り付け用クリップを外してから、モジュールを手前に引いてソケットから引き抜きます。

- 4 その他のアクセサリをすべてインストールしたら、PC本体にカバーを取り付けます。電源コードと通信ケーブル等を接続します。
- 5 HPサマリ画面で、新しい構成を確認します (HPサマリ画面を表示するには、起動中に Vectra のロゴが表示されたら、**Esc** キーを押します)。

大容量記憶装置のインストール

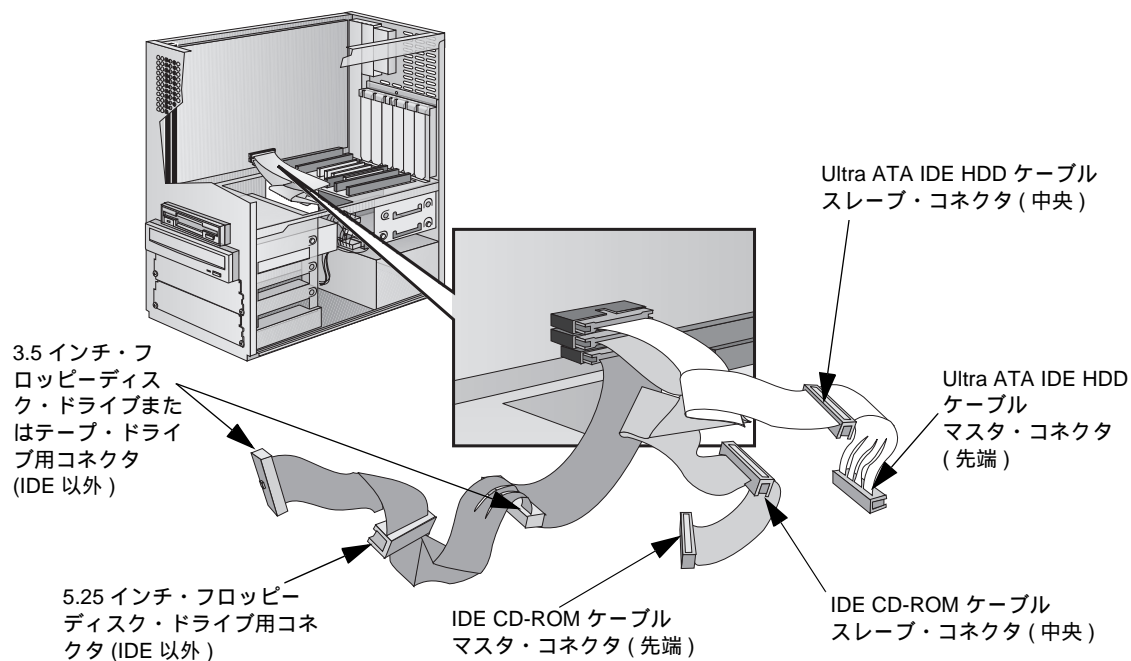
本PCには、補助ハードディスク・ドライブ、Zipドライブ、CD-ROMドライブ、テープ・ドライブなどのIDE大容量記憶装置を増設することができます。

注記

IDE以外のハードディスク・ドライブやCD-ROMドライブもインストールできますが、その場合はアクセサリ・ボード、ケーブルおよびドライバ・ソフトウェアが必要となります(通常は、ドライブに付属)。詳細は、各メーカーにお問い合わせください。

デバイスの接続

Zipドライブ、ハードディスク・ドライブ、CD-ROMドライブ、テープ・ドライブなどを増設する場合は、それらのドライブを電源ケーブルやデータ・ケーブルに接続する必要があります。データ・ケーブルとコネクタには次のような種類があります。



どのデータ・コネクタを使用するか PC本体内部には3本のデータ・ケーブルがあり、そのうち2本がIDEデバイス用です。

- Enhanced Ultra ATA IDE(Integrated Drive Electronics)ハードディスク・ドライブ接続用ケーブル。このケーブルにはIDEハードディスク・ドライブを2基まで接続でき、既にIDEドライブ1基が接続されています。このケーブルには、「HDD」のラベルが付いています。

最高のパフォーマンスを得るためにUltra ATA対応のIDEハードディスク・ドライブを接続する際は、このケーブルを使用してください。

- Enhanced IDE ドライブ接続用ケーブル。IDE デバイスを2基まで接続できます。CD-ROMドライブ、Zipドライブ、3基めのハードディスク・ドライブをインストールする際は、このケーブルに接続します。このケーブルには、「CD-ROM」のラベルが付いています。
- IDE以外のデバイス接続用ケーブル。3.5インチ・フロッピーディスク・ドライブ用のコネクタが2個、5.25インチ・フロッピーディスク・ドライブまたは互換テープ・ドライブ用のコネクタが1個付いています。

これらのIDEデータ・ケーブルを使用して、4基までのIDEデバイスをシステム・ボードに接続できます(ジャンパ設定や特別なインストール方法の有無については、インストールする記憶装置のマニュアルを参照してください)。

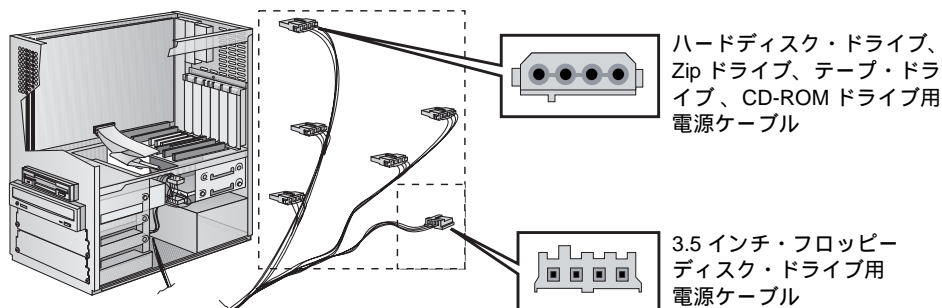
1 アクセサリのインストール方法

大容量記憶装置のインストール

次の表は、増設したデバイスに使用するデータ・ケーブルとコネクタの例です。

複数の IDE ドライブの接続例		
構成	接続に使用するデータ・ケーブル	
ハードディスク ×1	1. 起動用ハードディスク	マスタ・コネクタ、HDDケーブル
ハードディスク ×2	1. 起動用ハードディスク 2. 2基目のハードディスク	マスタ・コネクタ、HDDケーブル スレーブ・コネクタ、HDDケーブル
ハードディスク ×1 CD-ROMドライブ ×1	1. 起動用ハードディスク 2. CD-ROMドライブ	マスタ・コネクタ、HDDケーブル マスタ・コネクタ、CD-ROMケーブル
ハードディスク ×2 CD-ROMドライブ ×1	1. 起動用ハードディスク 2. 2基目のハードディスク 3. CD-ROMドライブ	マスタ・コネクタ、HDDケーブル スレーブ・コネクタ、HDDケーブル マスタ・コネクタ、CD-ROMケーブル
ハードディスク ×1 CD-ROMドライブ ×1 Zipドライブ ×1	1. 起動用ハードディスク 2. CD-ROMドライブ 3. Zipドライブ	マスタ・コネクタ、HDDケーブル マスタ・コネクタ、CD-ROMケーブル スレーブ・コネクタ、CD-ROMケーブル
ハードディスク ×2 CD-ROMドライブ ×1 Zipドライブ ×1	1. 起動用ハードディスク 2. 2基目のハードディスク 3. CD-ROMドライブ 4. Zipドライブ	マスタ・コネクタ、HDDケーブル スレーブ・コネクタ、HDDケーブル マスタ・コネクタ、CD-ROMケーブル スレーブ・コネクタ、CD-ROMケーブル

どの電源コネクタを使 電源コネクタには2種類あります。下の図を参照してください。
用するか



電源コネクタの一部は、すでにデバイスに接続されています。上記以外のコネクタを使用するデバイスをインストールする場合は、そのデバイス用のコネクタ・コンバータが必要です。

起動用ハードディスク・ドライブの選択	起動(ブート)用ハードディスクを選択するには、Setup プログラムを起動し、Boot メニューの「Hard Disk Drives」サブメニューを表示します(詳細は37ページを参照)。ハードディスク・ドライブをIDE マスタ・コネクタに接続しても、Setup プログラムで設定しないかぎり、そのハードディスク・ドライブからは起動できません。
ジャンパ設定	ジャンパ設定の有無については、IDE ドライブに付属のマニュアルを参照してください。ドライブのジャンパは、「Cable Select」または「CS」に設定されているはずです。

インストール後のIDEデバイスの設定

2基目のIDEドライブ、またはフロッピーディスク・ドライブをインストールした場合、PCが新しい設定を正しく認識したことをHPサマリ画面で確認する必要があります。また、設定が正しく行われていなかった場合は、HP Setup プログラムを実行して、デバイスを設定し直してください。Setup プログラムを実行するには、起動中に **(F2)** キーを押してください。

IDE ドライブは、Setup プログラムによって自動的に検出されますが、新しくインストールしたCD-ROMドライブにはデバイス・ドライバのインストールが必要な場合があります。詳細は、オペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。最新のデバイス・ドライバは、次のHPウェブ・サイトからダウンロードしてご使用ください。

<http://www.hp.com/go/vectrasupport/>

3.5 インチIDEハードディスク・ドライブのインストール

注意

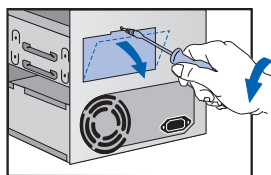
ハードディスクは慎重に取り扱ってください。ハードディスクの内部コンポーネントに損傷を与えるような衝撃や乱暴な扱いは避けてください。

ハードディスク・ドライブをインストールする前に、必ずファイルのバックアップをとっておいてください。バックアップ方法については、ご使用のオペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

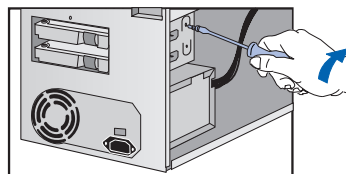
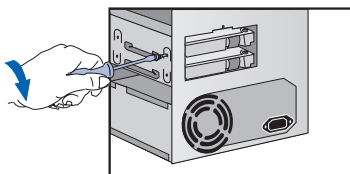
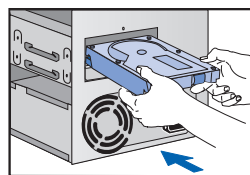
ジャンパ設定や特別なインストール方法の有無については、インストールするドライブのマニュアルを参照してください。ハードディスク・ドライブに取り付け用トレイが付いている場合は、ドライブをインストールする前にトレイを取り外しておいてください。

- 1 ディスプレイとPC本体の電源をオフにします。電源コードと通信ケーブル等を取り外します。
- 2 PC本体のカバーを取り外します。
- 3 PC本体背面のアクセス・プレートのネジを外してプレートを取り外します。
- 4 ドライブをシェルフに差し込みます。
- 5 ドライブに付属の4本のネジ(両側とも各2カ所)でドライブを取り付けます。付属のネジ以外は使用しないでください。ハードディスクを傷つける恐れがあります。

ステップ 3: ネジを外してリア・アクセス・プレートを取り外す

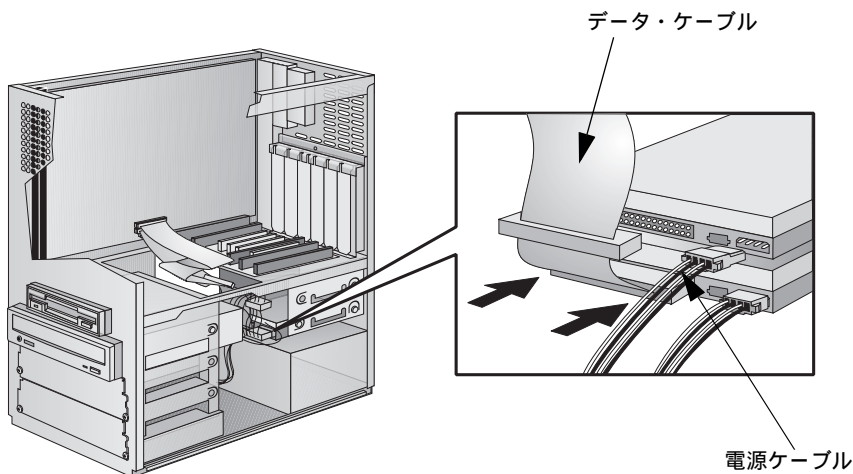


ステップ 4: ドライブをシェルフに差し込む



ステップ 5: ドライブを固定する

- 6 コンピュータ背面にアクセス・プレートを取り付けます。
- 7 ドライブ背面に、電源ケーブルおよびデータ・ケーブルを接続します。コネクタは、一方向にしか差し込めない形になっています。接続するコネクタについては、8ページを参照してください。



- 8 他のデバイスやカバーを取り付けたときに絡まないよう、データ・ケーブルの接続や配線状態が適切か確認します。
- 9 その他の必要なアクセサリをすべてインストールしたことを確認したら、カバーを取り付けます。電源コードと通信ケーブル等を接続します。
- 10 HP サマリ画面で新しい設定を確認します。HP サマリ画面を表示するには、起動中に Vectraのロゴが表示されたら **Esc** キーを押します。

注記

新しく増設したドライブからブートを行う場合は、Setupプログラムでの設定が必要です。また、ブート・ドライブには必ず、必要なオペレーティング・システムとHP製ドライバをインストールしてください。オペレーティング・システムとドライバの再インストールを行う際は、本PCに付属のソフトウェア・リカバリ CD-ROMをご使用ください。HP製ドライバの最新バージョンは次のHP Webサイトで提供しています。

<http://www.hp.com/go/vectrasupport/>

5.25インチ・ハードディスク・ドライブのインストール

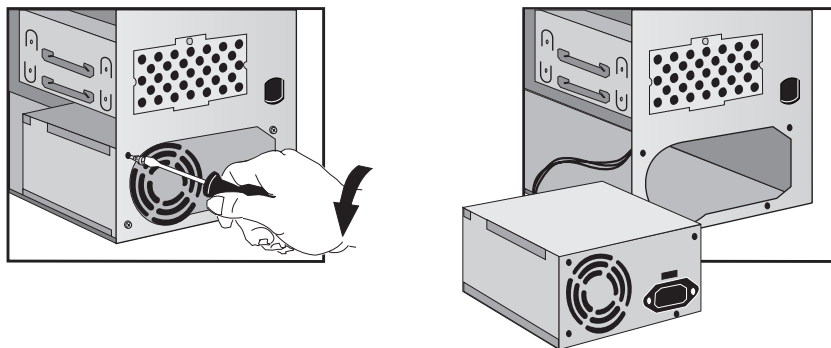
注意

ハードディスク・ドライブは慎重に取り扱ってください。ハードディスク・ドライブの内部コンポーネントに損傷を与えるような衝撃や乱暴な扱いは避けてください。

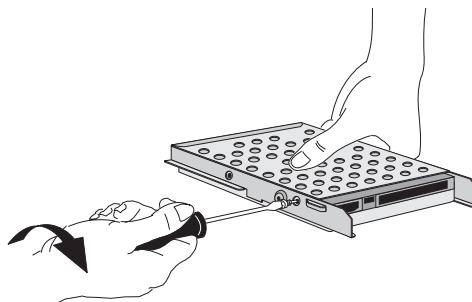
ハードディスク・ドライブをインストールする前に、必ずファイルのバックアップをとっておいてください。バックアップ方法については、ご使用のオペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

ハードディスク・ドライブをインストールする前に、ボトムフロント・シェルフにハードディスクをインストールするための取り付け用トレイを用意して下さい。ジャンパ設定や特別なインストール方法の有無については、インストールするドライブのマニュアルを参照してください。

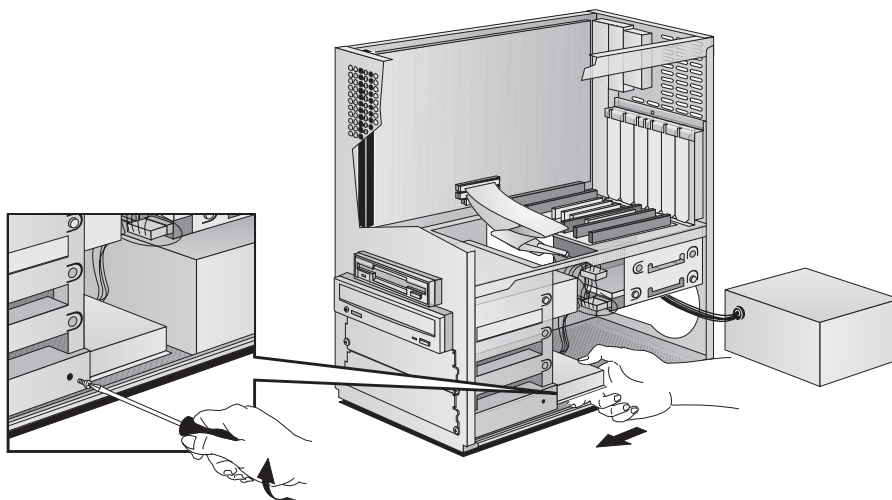
- 1 PC本体とディスプレイの電源を切り、電源コードと通信ケーブル等を取り外します。
- 2 PC本体のカバーを取り外します。
- 3 次の手順で電源を取り外します。
 - a PC背面の、電源を固定している4本のネジを外します。
 - b 電源をスライドさせて取り外し、PCの横に置きます。



- 4 ドライブに付属の4本のネジでディスク・ドライブをトレーに固定します。ドライブのコネクタが右側を向いていることを確認します。



- 5 トレー上面が上を向くように持ち、PC本体の所定の位置へドライブをゆっくりと差し込みます。



- 6 ドライブに付属の2本のネジ(両側とも各1カ所)でドライブを取り付けます。付属のネジ以外は使用しないでください。ハードディスクを傷つける恐れがあります。
- 7 ドライブ背面に、電源ケーブルおよびデータ・ケーブルを接続します。コネクタは、一方向にしか差し込めない形になっています。接続するコネクタについては、8ページを参照してください。
- 8 電源装置を戻して、4本のネジで固定します。
- 9 その他の必要なアクセサリをすべてインストールしたことを確認したら、カバーを取り付けます。電源コードと通信ケーブル等をPCに接続します。

1 アクセサリのインストール方法

大容量記憶装置のインストール

注記


新しく増設したドライブからブートを行う場合は、Setup プログラムでの設定が必要です。また、ブート・ドライブには必ず、必要なオペレーティング・システムと HP 製ドライバをインストールしてください。オペレーティング・システムとドライバの再インストールを行う際は、本 PC に付属のソフトウェア・リカバリ CD-ROM をご使用ください。HP 製ドライバの最新バージョンは次の HP Web サイトで提供しています。

<http://www.hp.com/go/vectrasupport/>

Zipドライブ、CD-ROMドライブ、テープ・ドライブのインストール

警告

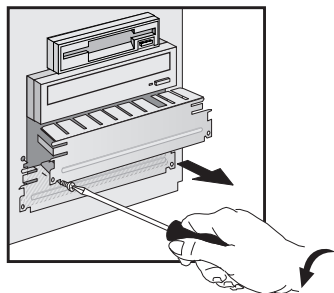
感電の恐れがあり、また目に損傷を受ける可能性があるため、レーザ・モジュールのカバーは決して開けないで下さい。修理が必要な場合は、適切な修理担当者に依頼してください。電源要件および波長については、CD-ROMドライブに貼られたラベルをご覧ください。本製品は、クラスIレーザ製品です。

- 1 ディスプレイとPCの電源を切り、電源コードと通信ケーブル等を取り外します。
- 2 PC本体のカバーを取り外します。
- 3 シェルフに金属製のかくし板が付いている場合は、左側の取り付けネジを外してから右側のラッチを外して取り外します。
- 4 マウント・レールが付属のネジでドライブに取り付けられていることを確認します。
- 5 ドライブをシェルフ内に完全にスライドさせます。
- 6 電源ケーブルとデータ・ケーブルをドライブの背面に接続します（コネクタは、一方向にしか差し込めない形になっています）。接続するコネクタについては、8ページを参照してください。
- 7 ドライブに付属のネジでドライブを所定の位置に固定します。
- 8 PC本体のカバーから、ドライブを設置する位置に付いているカバー・プレートを取り外します。カバー・プレートは左側のクリップを外し、手前に引き出します。取り外したカバー・プレートは保管しておいてください。
- 9 その他の必要なアクセサリをすべてインストールしたことを確認したら、カバーを取り付けます。
- 10 HP サマリ画面で新しい設定を確認します。HP サマリ画面を表示するには、起動中に Vectraのロゴが表示されたら  キーを押します。

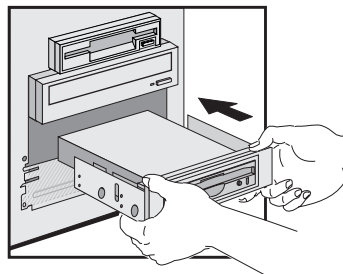
1 アクセサリのインストール方法

大容量記憶装置のインストール

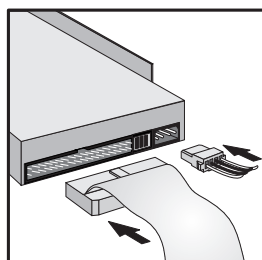
ドライブのインストール手順



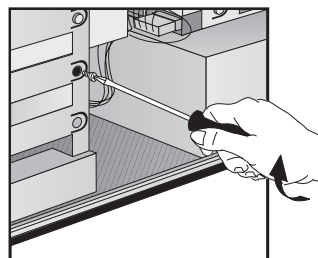
ステップ 3: カバー・プレートを取り外す



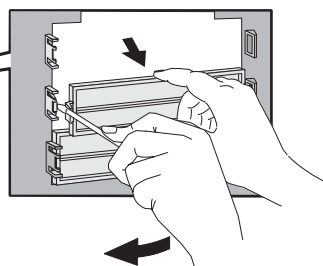
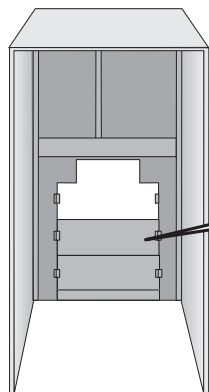
ステップ 5: ドライブをシェルフ内にスライドさせる



ステップ 6: 電源ケーブルとデータ・ケーブルを接続する



ステップ 7: ドライブを所定の位置に固定する



ステップ 8: カバー・プレートを取り外す

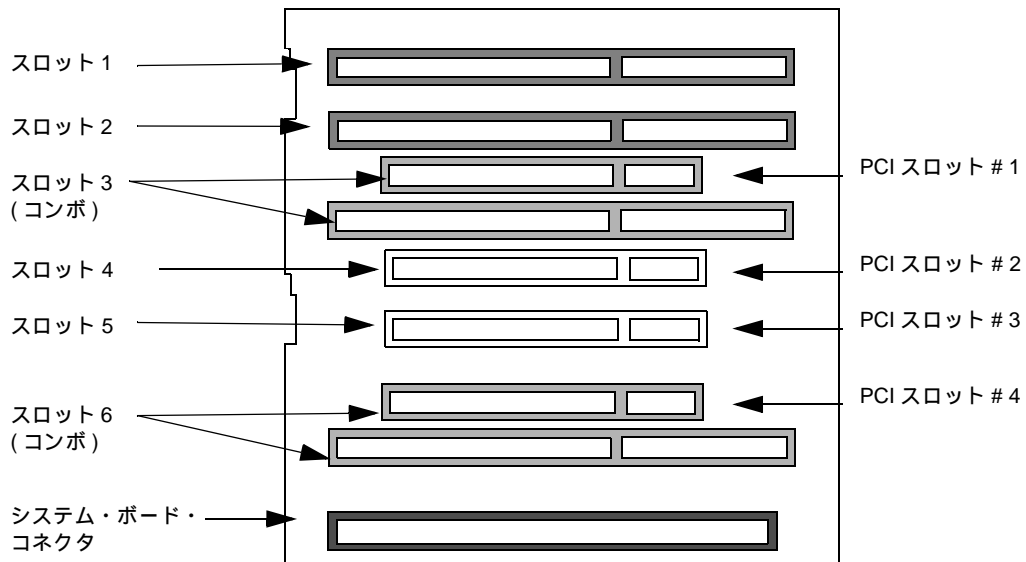
アクセサリ・ボードのインストール

注意

静電気によって、電子部品が損傷を受けることがあります。作業中はすべての装置の電源を切り、衣服がアクセサリに触れないようにしてください。静電気の影響を避けるため、アクセサリを開封するときは、電源装置の上に置いてください。またアクセサリの取り扱いには最少限にとどめ、取り扱いには十分に注意してください。

アクセサリ・ボード・スロット

本PCには、6基の拡張ボード用スロットがあります。これらのスロットの構成を次図に示します。



- スロット1と2(システム・ボードの反対側):フルサイズ16ビットISAボード用
- スロット3:フルサイズ16ビットISAボードまたは32ビットPCIボード用
- スロット4と5:フルサイズ32ビットPCIボード用
- スロット6(システム・ボード側):ショートサイズ16ビットISAボードまたは32ビットPCIボード用(最大長16cm)

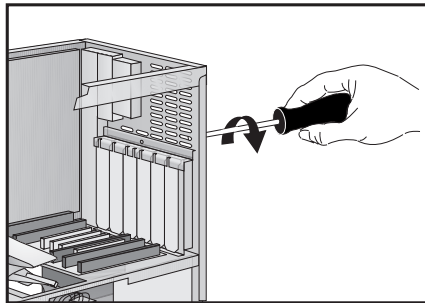
Setup プログラムで使用する PCI スロット番号

本 PC の Setup プログラムでは、論理上のスロット番号が使用されます。Setup プログラムで PCI スロットの設定を変更するには、この PCI スロット番号が必要です (Setup プログラムを起動するには、PC の起動中に **[F2]** キーを押します)。

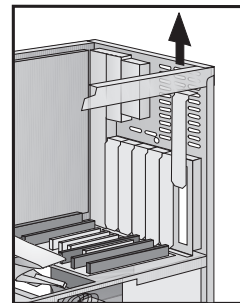
- PCI スロット #1 バックプレーンに「PCI 1」のラベルがあります。システム・ボードから最も離れた PCI スロットです。
- PCI スロット #2 バックプレーンにスロット「PCI 2」のラベルがあります。
- PCI スロット #3 バックプレーンにスロット「PCI 3」のラベルがあります。
- PCI スロット #4 バックプレーンにスロット「PCI 4」のラベルがあります。システム・ボードに最も近い PCI スロットです。

アクセサリ・ボードのインストール

- 1 ディスプレイとPC本体の電源を切り、電源コードと通信ケーブル等を取り外します。PC本体のカバーを取り外します。
- 2 必要に応じてエアフロー・ガイドを取り外します。
- 3 ボードのタイプ (PCI または ISA) に適したコネクタ・ソケットを持つ空きスロットを確認します。ボードによっては特別なスロット位置やインストール方法が指定されているので、ボードのマニュアルを参照してください。
- 4 押さえ金具とスロット・カバーを取り外します。押さえ金具は、PC 背面の押さえ金具のネジを外すと取り外せます。



押さえ金具のネジを外して押さえ金具を取り外す



スロット・カバーを取り外す

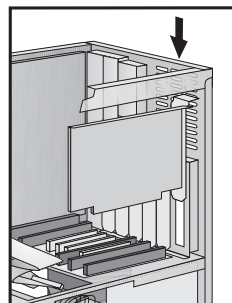
- 5 スロットにアクセサリ・ボードを取り付けます。ボードのコネクタがソケット側にくるようにボードを垂直に持ち、スロット・カバーを外しておいた空きスロットにスライドさせます。このときボードを曲げないようにご注意ください。

1 アクセサリのインストール方法

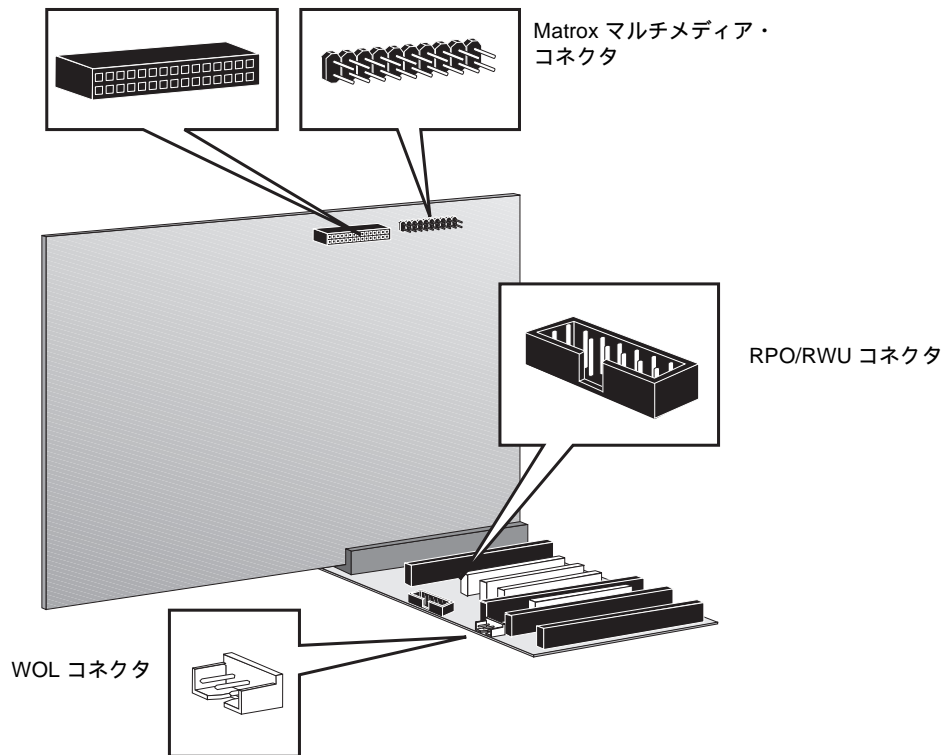
アクセサリ・ボードのインストール

- 6 ボード先端のコネクタとスロットのソケットを合わせて、ボードをしっかりと押し込みます。ボードのコネクタが完全にソケットへ押し込まれていて、他のボードの部品と接触していないことを確認します。

ボードを所定の位置にスライドさせる



- 7 押さえ金具を取り付け、ボードを固定します。
- 8 アクセサリ・ボードによっては、各ボード専用のコネクタに接続する必要があります。
 - ネットワーク・ボード: RPO/RWU (Remote Power On/Remote Wake UP) コネクタまたはWOL (Wake on LAN) コネクタに接続
 - Matrox® DVD ビデオまたはTalk Video 拡張ボード: マルチメディア用コネクタに接続
 - サウンド・ボード: CD-ROMドライブに接続



詳細は、アクセサリ・ボード付属のマニュアルを参照してください。接続用ケーブルは、通常アクセサリ・ボードに付属しています。

Remote Wake Up/Remote Power On、または Wake on LAN 対応のネットワーク・ボードをご使用の場合は、ネットワーク・ボードをインストールして、PRO/RWU コネクタまたは WOL コネクタに接続した後に、Setup プログラムの Power メニューで **Suspend Wake-Up/Integrated Network** および **Integrated Network** フィールドの両方またはどちらかを有効に設定する必要があります。Setup プログラムを実行するには、起動中に **[F2]** キーを押してください。

- 9 その他の必要なアクセサリをすべてインストールしたことを確認したら、カバーを取り付けます。電源コードと通信ケーブル等を PC に接続します。

Plug and Play対応アクセサリ・ボードの設定

Plug and Play は、PC ハードウェア・リソースとインストールしたアクセサリ・ボードの設定を自動で行う業界標準規格です。本 PC は BIOS によって Plug and Play の設定を行います。

PCI ボードはすべて Plug and Play 対応ですが、ISA ボードには対応していないものもあります。不明の場合は、アクセサリ・ボードのマニュアルを参照してください。

PC を起動すると、PC コンポーネント(キーボード、通信ポート、ネットワーク・アダプタ、アクセサリ・ボードなど)によって使用されるハードウェア・リソース (IRQ、DMA、メモリ範囲、I/O アドレスなど) を、Plug and Play BIOS が自動的に検出します。

Windows 95

Windows 95 などの Plug and Play 対応のオペレーティング・システムは、新しくインストールされた Plug and Play アクセサリ・ボードを自動的に検出し、使用可能なデバイス・ドライバを自動インストールします。

Windows NT 4.0

Windows NT 4.0 などの Plug and Play 非対応のオペレーティング・システムをご使用の場合、アクセサリ・ボードのインストールについては、付属のマニュアルを参照してください。

Windows NT 4.0 でヘルプを表示するには、[スタート] ボタンをクリックして、次に [ヘルプ] をクリックします。Windows NT 4.0 のヘルプの目次やインデックスには、デバイスのインストールに関する情報が収録されています。Windows NT 4.0 ではヘルプを参考にしながらモデムやサウンド・ボードなどのデバイスのインストールを進めることができます。

注記

Windows NT 4.0 ではデバイスを追加した後、Microsoft Service Pack を再インストールして、ご使用の PC に合わせてオペレーティング・システムをアップデートする必要があります。
アップデートを行うには、[スタート] ボタンをクリックして、次に [プログラム]、[Windows NT アップデート] をクリックします。

Plug and Play非対応ISA アクセサリ・ボードの設定

Plug and Playに非対応のISA アクセサリ・ボードをインストールした場合は、それを使用するための設定を行う必要があります。ボードの設定については、ボードに付属のマニュアルを参照してください。

本PCで利用可能なIRQとI/Oアドレスについてのガイドラインは、61ページを参照してください。Windows 95などのオペレーティング・システムでは、現在使われているIRQとI/Oアドレスを画面に表示することができます。詳細は、オペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

Plug and Play非対応アクセサリ・ボードを設定する際の、オペレーティング・システムの機能や制限などについては、オペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

PCの構成データを
リセットするには

本PCがISAボードを検出できない場合は、PCのデータ構成をリセットしてみてください。これにより、使用されていない旧構成データをすべて消去することができます。データをリセットするには、Setup プログラムを起動し、**Reset Configuration Data**パラメータを**Yes**に設定した後、PCを再起動します。Setup プログラムを実行するには、起動中に **(F2)** キーを押してください。

バッテリーの交換

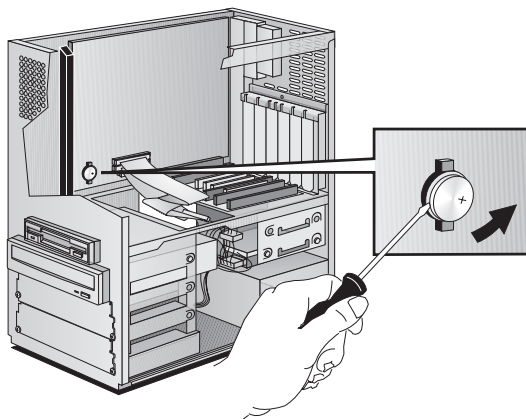
警告

バッテリーは取り付けが正しくないと破裂する危険性があります。また安全のため、使用済みのバッテリーを充電、分解、焼却しないでください。バッテリーを交換する際は、メーカー指定または同一タイプのバッテリーをご使用ください。本バッテリーは、重金属を含まないリチウム電池です。環境保護のためにも不要になったバッテリーは、必ず指定された方法で廃棄してください。

交換用バッテリーは、最寄りの HP セールス/サービス・オフィスまでご注文ください (パーツ番号 HP 1420-0356)。また、電気店から購入することもできます (CR2032 型とご指定ください)。

コンピュータ本体のカバーを取り外し、次の手順でバッテリーを取り付けます。

- 1 ドライバを使ってバッテリー・ホルダから古い電池を取り出します。+ の印の位置を覚えておいてください。

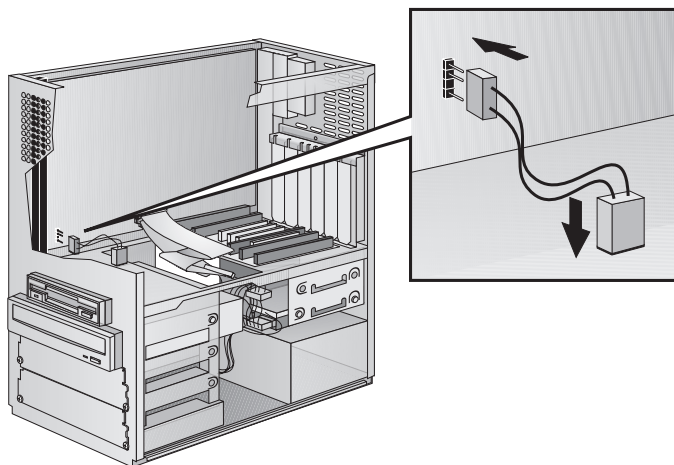


- 2 新しいバッテリーをバッテリー・ホルダ内に置きます。+ の印の位置が元と同じになるように設置してください。バッテリーが正しく取り付けられているかどうか確認します。

外部バッテリー

本 PC には外部バッテリーも装着することができます。外部バッテリーは、HP の正規販売代理店までご注文ください。外部バッテリーは次の手順で取り付けます。

- 1 コンピュータ本体のカバーを取り外し、外部バッテリーのケーブルをシステム・ボード上のバッテリー・コネクタに接続します。
- 2 付属の粘着テープで外部バッテリーを装着します。

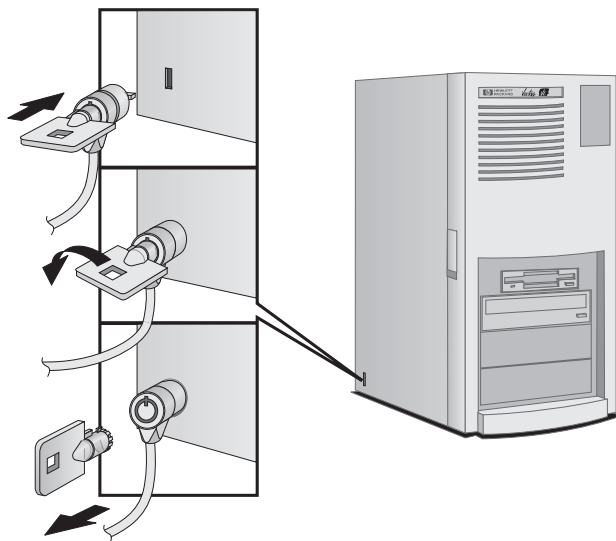


外部バッテリーの装着が終わったら、コンピュータ本体のカバーを取り付けます。Setup プログラムを起動し、コンピュータを構成し直します。Setup プログラムを実行するには、起動中に **(F2)** キーを押してください。

セキュリティ・ケーブルの取り付け

Kensington™ 製セキュリティ・ケーブルを使えば、PC をデスクや近くの物に固定することができます。セキュリティ・ケーブルのスロットは、PC の背面にあります。

- 1 PC 背面のスロットにキーロックを挿入します。
- 2 PC 本体にケーブルがロックされるまでキーを回します。
- 3 キーを外します。キーは大切に保管しておいてください。



注記

Kensington™ セキュリティ・ケーブルはHP製品ではありません。ご注文については、販売代理店までお問い合わせください。

セキュリティ機能

本章では、パスワードやハードウェアの監視など本PCのセキュリティ機能について説明します。

パスワードの設定

本PCには、次の2種類のパスワードがあります。

- BIOSパスワード

管理者パスワードとユーザ・パスワードの2つのパスワードを使用して、2種類の保護レベルを設定できます。どちらのパスワードも、Setup プログラムの [Security] メニューで設定します。

- ソフトウェア・パスワード

Windows NT4.0、Windows 95 などのオペレーティング・システムには、パスワード機能があります。詳細はオペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

使用上のヒント

- ユーザ・パスワードを設定することにより、部外者によるPCの使用を防止できます。
- 管理者パスワードを設定することにより、PCのSetup情報を保護できます。

管理者パスワードの設定

管理者パスワードを設定することにより、Setup プログラムの設定内容を保護できます。管理者パスワードを設定すると電源オン時にパスワードを確認するプロンプトが表示されるので、部外者によるPCの使用を防止できます。

管理者パスワードとユーザ・パスワードの両方を設定している場合、ユーザ・パスワードによって Setup プログラムに入ったときは、Setup の項目変更が制限されます。管理者パスワードによって Setup プログラムに入った場合、制限はありません。

管理者パスワード
を設定するには

管理者パスワードは次のように設定します。

- 1 起動中に **[F2]** キーを押して、Setup プログラムに入ります。
- 2 **[Security]** メニューを選択します。
- 3 **[Administrator Password]** サブメニューを選択します。
- 4 設定項目の **[Set Administrator Password]** を選択します。この設定では、パスワードを2度入力するように指示されます。**[Exit]** を選択し、次に **[Save and Exit]** を選択して、変更を保存してから Setup プログラムを終了します。


パスワードのクリアは、パスワード設定と同じ手順で行います。最初に現在のパスワードを入力するように指示されます。次に新しいパスワードを入力するように指示されますが、パスワード・フィールドには何も入力せずに、

[Enter] キーを押します。選択を確認するために、**[Enter]** キーをもう一度押して設定を終了します。

ユーザ・パスワードの設定

ユーザ・パスワードは、すでに管理者パスワードが設定されているときにのみ設定できます。


ユーザ・パスワードの設定により...



- 電源オン時にパスワード・プロンプトを表示でき、これによって部外者によるPCの使用を防止できます。
- ある指定期間キーボードを使用しないとキーボードロック・タイマが作動してPCを自動的にロックします。ロックを解除するには、パスワードを入力して  キーを押さなければなりません。
- PCがロックされている間スクリーン表示を消して機密データを守ります。

管理者パスワードとユーザ・パスワードの両方を設定している場合、ユーザ・パスワードによってSetupプログラムに入ったときには、Setupプログラムの項目変更が制限されます。管理者パスワードによってSetupプログラムに入った場合、制限はありません。

ユーザ・パスワード
を設定するには

ユーザ・パスワードは次のように設定します。

- 1 起動中に  キーを押して、Setupプログラムに入ります。
- 2 [Security]メニューを選択します。
- 3 [User Password]サブメニューを選択します。
- 4 設定項目の[Set User Password]を選択します。この設定では、パスワードを2度入力するように指示されます。[Exit]を選択し、次に[Save and Exit]を選択して、変更を保存してからSetupプログラムを終了します。

パスワードのクリアは、パスワード設定と同じ手順で行います。最初に現在のパスワードを入力するように指示されます。次に新しいパスワードを入力するように指示されますが、パスワード・フィールドには何も入力せずに、 キーを押します。選択を確認するために、 キーをもう一度押して設定を終了します。

HP TopTools によるハードウェア監視機能

HP TopTools ユーティリティの SafeTools グループを利用してハードウェアを監視することができます。SafeTools グループには、次のようなツールがあります。

- SafeTools 本PCの全体的な稼動状態の概要を各機能ごとにインジケータ・ライトやテキスト・メッセージを用いて表示します。
- ディスク・リライアビリティ IDEハードディスク・ドライブの稼動状態を知らせます。
- パワーオン・セルフ・テスト情報 パワーオン・セルフ・テストで検出されたエラーの内容とその対処方法を示します。
- Chassis Intrusion(侵入防止機能) PCのカバーが取り外された場合、システム管理者に通報します(ご使用のPCが本機能をサポートしていない場合、このツールは使用できません)。

また、HP TopTools には Crash Monitor モジュールが含まれており、TopTools と同時にダウンロードおよびインストールできます。このモジュールを使用すれば、アプリケーション・クラッシュが発生した時にデータをセーブすることができます。クラッシュはシステムのリソースが少ない時に頻発することから、TopTools にはリソースが少なくなると警報を発する機能があります。

HP TopTools は、Windows95 および Windows NT 4.0 プリインストール・モデルに付属しています。また、HP ウェブ・サイトから無料でダウンロードしてご利用いただくこともできます。

<http://www.hp.com/go/vectrasupport>

Windows95 および Windows NT 4.0 をご使用の場合、TopTools の起動および TopTools ヘルプの表示は、[スタート] ボタンをクリックして [プログラム] メニューから行います。

HP TopTools についての詳細は、HP Web サイトのホワイト・ペーパーを参照してください。

<http://www.hp.com/go/vectrasupport>

Master Pass Key System

Master Pass Key System は、システム管理者が1つのキーですべてのマシンをインストール・ベースで開けることのできるアクセサリです。Master Pass Key System はHP 正規販売代理店でお買い求めいただけます。

トラブルシューティング

本章では、このPCを使用する上での様々な問題の解決方法について説明します。

HP Setup プログラム

本PCを初めて使用するときは、必ず次の手順でPCの設定を確認してください。

PCの電源を投入、
または再起動する

電源を入れるときはディスプレイ、PCの順に入れます。

すでにPCの電源がオンになっているときはデータを保存し、すべてのプログラムを終了します。Windows NT 4.0をご使用の場合は、[スタート]メニューの[シャットダウン]から、[コンピュータを再起動する]を実行してください。Windows 95をご使用の場合は、[Windowsの終了]から[再起動する]を実行してください。Windows NT 3.51などのオペレーティング・システムでは、オペレーティング・システムを終了した後、電源オン/オフ・ボタンを押して、PCの電源を手動で入れ直してください。

HPサマリ画面
を表示するには

Vectraのロゴが表示されている間に **[Esc]** キーを押すと、HPサマリ画面が表示されます。サマリ画面は数秒間しか表示されません。**[F5]** キーを押すと、サマリ画面をそのまま表示させておくことができます。終了したいときには、再び **[F5]** キーを押します。

サマリ画面は、メイン・メモリの容量など本PCの基本的な設定内容を表示します。

Setup Program
を表示するには

サマリ画面をスキップして直接Setupプログラムを表示するには、Vectraのロゴが表示されている間に **[Esc]** キーではなく **[F2]** キーを押します。

Setupプログラムでは、パスワードやスタンバイ・モード(省電力モード)など本PCの設定内容を変更したり、表示したりできます。

デバイスのブート順

Current Startup Bootメニュー (現在の起動に限ったブート・メニュー)

本メニューでは、ブートを行うデバイスのプライオリティ (例えば、フロッピーディスク・ドライブ、CD-ROMドライブ、ハードディスク・ドライブ、ネットワークの順) を設定します。このメニューで設定できるブート順は、現在の起動に限られます。

Current Startup
Bootメニューを
表示するには

本メニューを表示するには、Vectraのロゴが表示されている間に **[F8]** キーを押します。

デフォルト起動用Bootメニュー

Setup プログラムですべての起動に対するブート順を一括して変更することができます。この設定は、起動中に **[F2]** キーを押して Setup プログラムを表示し、[Boot] メニューの [Boot Device Priorities] サブメニューで行います。

ハードディスク・ドライブ用Bootメニュー

複数のハードディスクがインストールされている場合、Setup プログラムでブートを行うハードディスク・ドライブを選択することができます。この設定は、Setup プログラムの [Boot] メニューの [Hard Disk Drives] サブメニューで行います。

注記

PC を最初に起動するとき、デフォルト設定により PC は IDE マスタ・コネクタに接続されたハードディスク・ドライブからブートします。

起動用ハードディスク・ドライブの変更は、Setup プログラムを起動して、[Boot] メニューの [Hard Disk Drives] サブメニューで行います。

ハードディスク・ドライブの IDE コネクタ (マスタとスレーブ) を切替えても Setup プログラムのブート設定は変更されないため、何の効果もありません。次ページの例を参照してください。

3 トラブルシューティング

HP Setup プログラム

2基のハードディスク・ドライブがインストールされている場合：

ハードディスク・ドライブ	物理的接続	Setup プログラムにおけるHDD ブート設定	論理ドライブ
3.2 GB	IDE マスタ・コネクタ	1(このHDD からブート)	C:
4.3 GB	IDE スレーブ・コネクタ	2	D:

下の表のように、2基のハードディスク・ドライブ間でIDE データ・コネクタを切替えても、ブート設定はまったく変わりません。

ハードディスク・ドライブ	物理的接続	Setup プログラムにおけるHDD ブート設定	論理ドライブ
3.2 GB	IDE スレーブ・コネクタ	1(このHDD からブート)	C:
4.3 GB	IDE マスタ・コネクタ	2	D:

起動用ハードディスク・ドライブを変更するには、Setup プログラムで設定を変更する必要があります。上の例の場合、次のようになります。

ハードディスク・ドライブ	物理的接続	Setup プログラムにおけるHDD ブート設定	論理ドライブ
3.2 GB	IDE スレーブ・コネクタ	2	D:
4.3 GB	IDE マスタ・コネクタ	1(このHDD からブート)	C:

上の例では、Setup プログラムでの設定変更にしたがって、3.2 GB のハードディスク・ドライブではなく、4.3 GB のハードディスク・ドライブから起動するようになります。

HP DiagTools ハードウェア診断ユーティリティ

本ユーティリティを使って、HP Vectra PCおよびPCワークステーションで発生するハードウェアに関連する不具合を診断することができます。
本ユーティリティには、次の機能を持つツール・セットが含まれます。

- システムの設定をチェックし正常に機能していることを検証する。
- ハードウェア関連の不具合を診断する。
- HPのサポート担当者が不具合を速やかに効率的に解決できるよう、正確な情報を提供する。

Vectra PCをご使用の場合、先ず、HP ハードウェア診断ユーティリティの最新バージョンをインストールして、使用方法を理解しておいてください。

インストール方法とインストール先についての詳細は、『Vectra Hardware Diagnostic User's Guide』に記載されています。本ガイド(Adobe Acrobat PDFフォーマット)は、下記のHP WWWサイトからダウンロードしてお読みください。

ハードウェア関連の不具合の診断には、本ユーティリティの最新バージョンが必要不可欠です。サポートをお受けになる際は、必ず最新バージョンをご用意ください。

DiagToolsユーティリティの入手方法

本ユーティリティの最新バージョンは、毎日24時間利用可能なHP電子情報サービスから入手することができます。

これらのサービスにアクセスするには、下記のHP WWWサイトに接続してください。

<http://www.hp.com/go/vectrasupport/>

3 トラブルシューティング

HP DiagTools ハードウェア診断ユーティリティ

診断ユーティリティの
起動

DiagTools を起動方法は次の通りです。

- 1 DiagTools ディスクをフロッピー・ドライブに挿入します。
- 2 すべてのアプリケーションを終了し、オペレーティング・システムをシャットダウンしてPCを再起動します。再起動するとただちに、ユーティリティが自動的に立ち上がり、Welcome画面が表示されます。
- 3 Welcome画面が表示されたら、**[F2]** キーを押して次に進みます。画面に表示される指示にしたがって、診断テストを実行します。

ユーティリティは、システムのハードウェア構成を自動検出した後、ただちに診断テストを実行します。

ベーシック・システム・テスト

システム・ハードウェアの稼働状態を検証するには、ベーシック・システム・テストを実行します。

アドバンスト・システム・テスト

各システム・コンポーネント内部のより綿密なテストを行うには、アドバンスト・システム・テストを実行します。

注記

アドバンスト・テストは、中級または上級ユーザの方に適しています。

サポート・チケット

システム構成およびテスト結果の正確な記録を残しておくにはサポート・チケットを作成する必要があります。サポート・チケットは、最寄りのHPサポート窓口まで電子メールまたはファックスでお送りください。

本ユーティリティの使用方法について詳細は、『Vectra Hardware Diagnostic User's Guide』を参照してください。本ガイドは下記のHP WWWサイトで入手できます。

<http://www.hp.com/go/vectrasupport/>

PC が起動できないとき

電源を入れても PC が起動しないとき、また次のような症状があるときに、本項を参照してください。

- 画面に何も表示されず、エラー・メッセージもない
- POSTエラー・メッセージが表示される

画面に何も表示されず、エラー・メッセージもない

電源を入れても画面が表示されず、エラー・メッセージもないときは、次の手順を実行してください。

- 1 外部項目の点検
- 2 内部項目の点検
- 3 アクセサリの再インストール

3 トラブルシューティング

PC が起動できないとき

外部項目の点検

次のような外部項目が正しく機能しているか確認します。

- コンピュータおよびディスプレイの電源が入っているか(電源インジケータが点灯しているか)
- ディスプレイのコントラストや輝度の調節は適切か
- ケーブルや電源コードはしっかりと差し込まれているか
- 電源コンセントに異常はないか
- 本PCの電源装置には、過熱や過剰な電力消費を避けるためのセキュリティ機能が備わっています。この機能が働いているときは、PCを起動することはできません。セキュリティ・モードを解除するには、本PCの電源コードを抜いて、10秒ほどしてから再び差し込んでください。
- スペース・バーを押してもPCを起動できない時はSetupプログラムの[Power-On] サブメニュー ([Power] メニュー) で [Space Bar] のフィールドが有効に設定されていること、また、システム・ボード・スイッチ8の位置が CLOSED になっていることを確認してください。Setup プログラムを表示するには、起動時に Vectra のロゴが表示されている間に **(F2)** キーを押してください。

内部項目の点検

それでもPCが正常に起動しないときは、次の手順で内部項目を点検してください。

- 1 ディスプレイ、PC本体、およびすべての周辺装置の電源をオフにします。
- 2 すべての電源コードおよびケーブルを、位置を確認しながら外します。通信ネットワークへの接続もすべて外します。
- 3 PC本体のカバーを取り外します。
- 4 次の項目を点検します。
 - 内部ケーブルがすべて正しく接続されていること
 - プロセッサの速度スイッチの設定が正しいこと
 - メモリ・モジュールが正しく取り付けられていること
 - アクセサリ・ボードがしっかりとスロットに差し込まれていること
 - アクセサリ・ボードのスイッチやジャンパが正しく設定されていること
 - システム・ボード・スイッチが正しく設定されていること
- 5 カバーを取り付けます。
- 6 ケーブルや電源コードをすべて接続します。
- 7 ディスプレイおよびPC本体の電源をオンにします。

アクセサリの再インストール

以上の点検を行っても異常が発見されないときは、ハードディスク以外のアクセサリ・ボードやアクセサリを取り外します。PCを起動し、PCが正常に動くときは、アクセサリ・ボードやアクセサリを一つずつ取り付けて、どれに問題があるかを調べます。

POST エラー・メッセージが表示される

POST(パワーオン・セルフ・テスト)は、エラーおよび設定への変更を検出します。どちらの場合も、エラー・コードと短い説明文が表示されます。エラーの種類によって、次に示すうち1つまたは複数の選択が可能です。

- **[F1]** キーを押して、メッセージを無視しプロセスを続けます。
- **[F2]** キーを押して Setup プログラムを起動し、システムの設定に起因するエラーを修訂します。PC がうまく起動できたような場合でも、エラーを修正してから先に進んでください。**[Esc]** キーを押すと [Exit] メニューが表示されます。次に、[Exit Saving Changes] フィールドを選択し、**[Enter]** キーを押して変更を有効にし、Setup プログラムの設定情報を更新します。
- **[Enter]** キーを押してメッセージの詳細を表示します。メッセージの詳細を読んだら、元の POST 画面に戻ります。

設定メモリのクリア

もしPCをスタートできても、まだPOSTでエラーが報告される場合は、設定メモリの値をクリアして内蔵のデフォルト値を再ロードします。

- 1 PCの電源を切り、電源コードやケーブルの接続を取り外し、PC本体のカバーを取り外します。通信ネットワークへの接続も外します。
 - a システム・ボード・スイッチ6(Clear CMOS)をCLOSEDの位置にして既存の設定をクリアします。
 - b カバーを取り付け、電源コードのみを接続します。
 - c PCの電源を入れます。これによりCMOSメモリがクリアされます。
 - d PCの起動を待ちます。次を意味するメッセージが表示されます。
「設定はクリアされました。スイッチ6をOPENの位置にした後、再起動してください」
PCの電源を切り、電源コードを外して、カバーを取り外します。
 - e システム・ボード・スイッチ6(Clear CMOS)をOPENの位置にして、設定を有効にします。

- 2 カバーを取り付け、電源コードやケーブルを接続します。
- 3 PCの電源を入れます。CMOSデフォルト値をロードするため、通常より起動が遅くなります。
- 4 **F2** キーを押してSetupプログラムを起動します。日付と時刻の設定など、必要なフィールドを更新してから設定を保存し、Setupプログラムを終了します。新しい設定にしたがってPCが再起動します。

PC をオフにできないとき

電源ボタンを押すと低い唸り音またはピープ音が聞こえる場合は、次の手順を実行してください。

- 1 PCがロックされていないか確認します。ロックされていると、電源をオフにできません。ロックを解除するには、パスワードの入力が必要です
- 2 サスペンド/スリープ・モードになっている可能性があります。マウスを動かすかキーを1つ押してみてください。

電源ライトを押したとき低い唸り音やピープ音は聞こえなくても、PC をオフにできない場合は、次の手順を実行してください。

- 作業中のデータを保存し、すべてのプログラムを終了したことを確認します。次に電源ボタンを5秒ほど押し続けます。これでPCの電源はオフになります。

ハードウェアに問題があるとき

ディスプレイ、ディスク・ドライブ、プリンタ、アクセサリ・ボード、キーボード、マウスに問題があるとき、本項を参照してください。

警告

ケーブルの接続状態やジャンパ設定を調べるためにカバーを取り外すときは、必ず電源コードやネットワーク用のケーブルなどを外してから行ってください。感電やレーザー光による目の損傷を避けるため、CD-ROMドライブのカバーは取り外さないでください。CD-ROMドライブの修理が必要な場合は、有資格のサービス担当者に依頼してください。電源の条件や波長についてはCD-ROMドライブのラベルを参照してください。本PCはクラスIレーザー製品です。レーザー・ユニットの調整を試みないでください。

ディスプレイが動作しない

画面に何も表示されないものの、PCが起動し、キーボードやディスク・ドライブ、その他の周辺機器が正常に動作していると思われるときは...

- 1 ディスプレイの電源コードが接続され、電源がオンになっているか確認します。
- 2 輝度およびコントラストの調節が適切か調べます。
- 3 ディスプレイのビデオ・ケーブルの接続が適切か調べます。
- 4 ディスプレイの電源を切り、コンセントから電源コードを抜きます。ビデオ・ケーブルを外し、コネクタ・ピンを点検します。もしピンが曲がっていれば、注意して直します。
- 5 ビデオをアップグレードした場合、そのインストールが適切か調べます。
- 6 アクセサリ・ボードが、内蔵のビデオ・インタフェースと同じI/Oアドレス(03B0h ~ 03DFh)を使用していないか調べます。詳細は、アクセサリのマニュアルを参照してください。

その他のディスプレイの問題

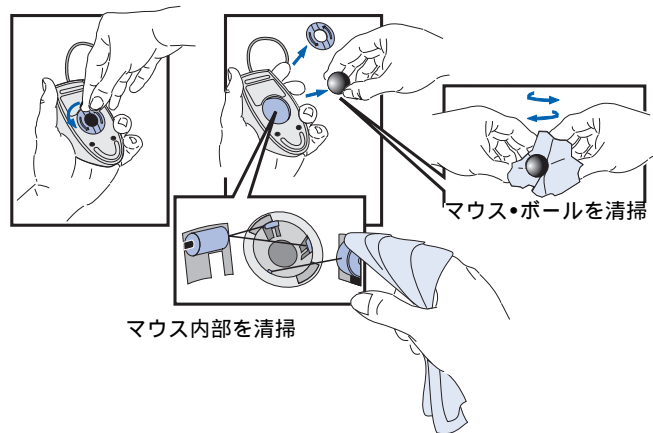
画像の位置が画面と合っていないときは、ディスプレイのコントローラを調節して矯正します(ディスプレイのマニュアルを参照してください)。アプリケーションの生成する画像がおかしいときは、アプリケーションのマニュアルを調べて必要な画像規格を確認します。またディスプレイのマニュアルにより、適切なリフレッシュ・レートを調べます。Setupプログラムまたはオペレーティング・システムに示された手順を使用して、正しいリフレッシュ・レートを設定します。

キーボードが動作しない

- 1 キーボードを正しくキーボード・コネクタに接続しているか調べます(誤ってマウス・コネクタを使用していないか確認してください)。
- 2 キーボード上のキーが押されたままの状態になっていないか確認します。このような場合、指でキーを少しづつ押しながらもとの状態に戻します。
- 3 PCの電源を入れ、オペレーティング・システムが起動し、キーボードが正しく接続されているにも関わらず何もキーボードから入力できない場合は、パワー・オン・パスワードが[keyboard locked]に設定されている可能性があります。キーボード(およびマウス)のロックを解除するにはパスワードを入力する必要があります。
- 4 キーボードに液体をこぼした可能性があります。このような場合は、キーボードを修理、または交換する必要があります。
- 5 HP拡張キーボードのQuickLaunchキーを使用している場合は、使用しているドライバが正しいかどうか確認してください。このドライバはWindows NT 4.0 およびWindows 95がプリインストールされているモデルにはすべて付属しており、Windows NT 4.0およびWindows 95でのみ動作します。

マウスが動作しない

- 1 マウスを正しくマウス・コネクタに接続しているか調べます。(誤ってキーボード・コネクタを使用していないか確認してください)。
- 2 プリインストールのソフトウェアに付属のマウス・ドライバが正しくインストールされているか確認します。HP 拡張マウスを使用している場合は、正しいドライバを使っているか確認します。このドライバはWindows NT 4.0 およびWindows 95がプリインストールされているモデルにはすべて付属しています。
- 3 次の図で示すようにして、マウスのボールおよびローラーの汚れを取ります(不織布を使用します)。



プリンタが動作しない

- 1 PCおよびアプリケーションにおけるプリンタの設定が正しいか確認します。
 - a Setupプログラムを使用して、PCのポート構成を正しく行なっているか確認します。
 - b オペレーティング・システムのプリンタ設定が適切か確認します。
 - c アプリケーションの[プリント]メニューでの設定が適切か確認します(アプリケーションのマニュアルを参照してください)。
- 2 ポートに接続された他の周辺機器を動作させてみて、PCのポートが正しく機能しているか確認します。
- 3 上記以外の処置については、プリンタのマニュアルを参照してください。

フロッピーディスク・ドライブが動作しない

- 1 フォーマットされたフロッピーディスクを、正しく挿入しているか確認します。
- 2 Setupプログラムの[Advanced]メニューで、オンボード・フロッピーディスク・ドライブ・コントローラを有効/無効にする設定が適切か確認します。
- 3 クリーニング・キットにより、フロッピーディスク・ドライブを清掃します。
- 4 起動時に **(F2)** キーを押してSetupプログラムを表示し、そこでフロッピー・ドライブが有効に設定されているかどうか確認します。
 - Setupプログラムの[Hardware Protection]サブメニュー ([Security]メニュー)で[Flexible disks]フィールドが[unlocked]になっている
 - Setupプログラムの[Boot Devices Security]サブメニュー ([Security]メニュー)で[Start from floppy]が有効になっている
 - Setupプログラムの[Hardware Protection]サブメニュー ([Security]メニュー)で[Write on flexible disks]が[unlocked]になっている
- 5 ディスク・ドライブの電源およびデータ・ケーブルが、正しく接続されているか確認します。

ハードディスクが動作しない

- 1 ディスク・ドライブの電源およびデータ・ケーブルが正しく接続されているか確認します(第1章を参照)。
- 2 ハードディスクが[unlocked]になっていることを確認します(起動時に **F2** キーを押してHP Setup プログラムにアクセスし、[Hardware Protection] サブメニュー ([Security] メニュー) を参照してください)。Setup プログラムにはハードディスクからの起動を有効/無効にするオプションもあります (Setup プログラムの [Boot Devices Security] サブメニュー ([Security] メニュー) を参照してください)。
- 3 ハードディスクが検出されたことを確認します (起動時に **F2** キーを押して Setup プログラムにアクセスし、[IDE Devices] サブメニュー ([Advanced] メニュー) を参照してください)。
- 4 拡張IDEコントローラを使用している場合は、オンボードBus IDEが有効になっていることを確認します (起動時に **F2** キーを押して Setup プログラムにアクセスし、[IDE Devices] サブメニュー ([Advanced] メニュー) を参照してください)。

ハードディスク動作インジケータが点灯しない
ハードディスクにアクセスしていても、ハードディスク動作インジケータが点灯しないときは...

- 1 コントロール・パネル・コネクタが、システム・ボードにしっかりと接続されているか確認します。
- 2 ハードディスクの電源およびデータ・ケーブルが、しっかりと接続されているか確認します。

注記

コントロール・ボードを使用するハードディスク・ドライブ(SCSIハードディスクなど)の場合は、アクセス中に動作ライトは点灯しません。

CD-ROM ドライブに問題があるとき

警告

ケーブルの接続状態やジャンパ設定を調べるためにPC本体のカバーを取り外すときは、必ず電源コードやネットワーク用のケーブルなどを外してから行なってください。また感電やレーザ光による目の損傷を避けるため、CD-ROMドライブのカバーは取り外さないでください。CD-ROMドライブの修理が必要な場合は、有資格のサービス担当者に依頼してください。電源要件や波長についてはCD-ROMドライブのラベルを参照してください。本PCはクラス1レーザ製品です。レーザ・ユニットの調整を試みないでください。

CD-ROMドライブが動作しない

- 1 ケーブルが正しく接続されているか確認します。
- 2 CDがドライブの中に挿入されているか確認します。
- 3 SetupプログラムでCD-ROMが"CD-ROM"と宣言されているか確認します(起動時に **[F2]** キーを押してHP Setupプログラムにアクセスし、[IDE Devices]サブメニュー ([Advanced]メニュー)を参照してください)。
- 4 Setupプログラムで**Integrated Bus IDE Adapters**パラメータが**Both, IRQ 14/15**に設定されていることを確認します(起動時に **[F2]** キーを押してHP Setupプログラムにアクセスし、[IDE Devices]サブメニュー ([Advanced]メニュー)を参照してください)。
- 5 CD-ROMから起動する場合は、Setupプログラムで**Start From IDE CD-ROM**パラメータが有効になっていることを確認します(起動時に **[F2]** キーを押してHP Setupプログラムにアクセスし、[Boot Devices Security]サブメニュー ([Security]メニュー)を参照してください)。また、**ATAPI CD-ROM**が**Hard Drive**の前になければなりません。(HP Setupプログラムの [Boot Device Priority]サブメニュー ([Boot]メニュー)を参照してください)。
- 6 詳細はCD-ROMのマニュアルを参照してください。

CD-ROM ドライブがアイドル

CD-ROMドライブが動作していないと思われるときは、CD-ROMドライブ・アイコンやオペレーティング・システムでCD-ROMに割り当てたドライブ名をクリックし、ディスクへのアクセスを試みます。

3 トラブルシューティング

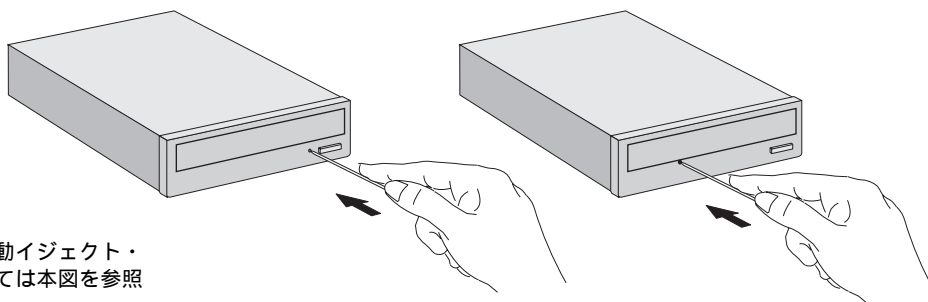
ハードウェアに問題があるとき

CD-ROMドライブのドアが開かない

停電などでCD-ROMドライブからCD-ROMディスクを取り出せない場合は、手動イジェクト・ボタンを使用すると、ディスクを取り出すことができます。

手動イジェクト・ボタンは次の手順で使用できます。

- 1 CD-ROMドライブ前面に手動イジェクト・ボタンが見つからない場合は、CD-ROMドライブのフロント・ベゼルを取り外します。手動イジェクト・ボタンは、CD-ROMドライブ前面の小さな穴の中にあります。



手動で取り出す。手動イジェクト・ボタンの位置については本図を参照

- 2 CD-ROMドライブのドアがゆるんで、やや開いた状態になります。注意しながらドアを完全に開いて、中のディスクを取り出します。
- 3 CD-ROMドライブのドアをゆっくり押し閉めます。停電などで機能が完全に回復していないときは、CD-ROMドライブのドアが完全には閉じない場合があります。このようなときは電源が入れば完全に閉まります。

アクセサリ・ボードが動作しない

- 1 ボードがアクセサリ・ボード・スロットにしっかりと装着されているか確認します。
- 2 アクセサリ・ボードが正しく設定されているか確認します。
- 3 アクセサリ・ボードが、すでにPCによって使用されているメモリ、I/Oアドレス、IRQ、DMAを使用していないか確認します。詳細は、ボードのマニュアルを参照してください。

パスワードを忘れたとき

注記

HP Setup プログラムでパスワードを設定しているとき、本項を参照してください。

- ユーザ・パスワードを忘れても管理者パスワードは分かっているとき、次のステップを実行します。
 - 1 PC の電源を切ります。
 - 2 再度電源を入れて、PC を再起動します。キーボードがロックされている場合は、管理者パスワードを入力します。
 - 3 **F2=Setup** が表示されるのを待ちます。
 - 4 **(F2)** キーを押して Setup プログラムを起動します。
 - 5 管理者パスワードを入力し、**[Security/User Password]** メニューへアクセスします。
 - 6 **[User Password]** フィールドに移動し、新しいユーザ・パスワードを入力します。これにより、忘れたパスワードに代わって新しいパスワードが設定されます。
 - 7 **(F3)** キーを押して新しいパスワードを保存し、Setup プログラムを終了します。
- ユーザ・パスワードおよび管理者パスワードの両方を忘れたとき、次のステップを実行します。
 - 1 PC の電源を切ります。
 - 2 PC 本体のカバーを取り外します。
 - 3 システム・ボード・スイッチの 7 を CLOSED の位置にします。
 - 4 PC の電源を入れ、起動プロセスを実行させます。次を意味するメッセージが表示されます。
「パスワードはクリアされました。電源を切ってスイッチ 7 を OPEN の位置にした後、再起動してください」
 - 5 PC の電源を切ります。
 - 6 スイッチ 7 を OPEN の位置に設定します。
 - 7 PC 本体のカバーを取り付けます。
 - 8 PC の電源を入れ、起動プロセスを実行させます。
 - 9 POST の後、プロンプトが表示されたら **(F2)** キーを押して、Setup プログラムを実行します。
 - 10 新しい管理者パスワードおよびユーザ・パスワードを設定します。
 - 11 **(F3)** キーを押して新しいパスワードを保存し、Setup プログラムを終了します。

PCI WakeUp 機能が動作しないとき

PCI WakeUp 機能をサポートするアクセサリ・ボードをインストールしても、WakeUp 機能が動作しないときは、次の点を確認してください。

- アクセサリ・ボードのインストールおよび使用方法についてはアクセサリ・ボードに付属のマニュアルを参照してください。

IRQ の設定に問題があるとき (サウンド・ボードをインストールした場合)

本 PC にサウンド・ボードをインストールして、次の項目に該当する場合は、手順 1、2、3 を実行してください。

- Windows NT 4.0 を使用している
- サウンド・ボードに付属のインストール・ガイドに従ってサウンド・ボードのインストールを行った
- サウンド・ボードに使用できる IRQ (割り込み要求) がないというメッセージが表示された

対処のしかた：

- 1 PC を再起動して Setup プログラムを表示します。起動時に **[F2]** キーを押すと Setup プログラムを表示できます。
- 2 ISA サウンド・ボードの IRQ を予約します。使用できる IRQ は IRQ 5、IRQ 9、IRQ 10、IRQ 11 です。
[Advanced] メニューの [ISA Resource Exclusion] サブメニューを表示して、選択した IRQ を Reserved に設定します。
- 3 変更を保存して Setup プログラムを終了し、サウンド・ボードのインストールを再度実行します。

ソフトウェアに問題があるとき

アプリケーション・ソフトウェアが動作しない

電源スイッチ上のインジケータが点灯していて、一部のソフトウェアが働かないときは...

- 1 オペレーティング・システムおよびアプリケーション・ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- 2 Windows がうまく動作しないときは、Windows のマニュアルを参照してください。

日付と時刻が間違っている

日付と時刻が間違っている場合には、次のような原因が考えられます。

- 何かの理由で時間を変更した。
- 長い間PCを電源に接続しておかなかったため、バッテリーが放電した。

日付と時刻は、オペレーティング・システムのユーティリティを使用するか、または起動時に **(F2)** キーを押して Setup プログラムにアクセスして設定できます。

オーディオに問題があるとき

どのアプリケーションでも音が出ない

まず、ボリューム・レベルがゼロでないか確認します。ボリューム・コントロールは、フロントパネルにあります。また、CD-ROMドライブにヘッドフォン・コネクタがある場合、ヘッドフォンをCD-ROMドライブに直接接続していないか確認してください。

Windows NT 4.0をご使用の場合、ボリューム、ミュート、バランス設定をチェックしてください。詳細は、ご使用のオペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

ヘッドフォンをフロントパネルのジャックに接続すると、内蔵スピーカおよびオーディオ Stereo Out ジャックに接続した外部スピーカなどからは音が出なくなります。

PCを起動したときに、内蔵オーディオ・インタフェースがIRQやDMAの設定値を持たないことが考えられます。設定値は起動時に初期化されるため、システム・ファイルに必要な設定がないことが考えられます。

音が出ない問題は、ハードウェア・コンフリクトによっても起こります。ハードウェアに対するコンフリクトは、2つ以上の周辺機器が同じ信号ラインやチャンネルに対し競合するときに起こります。オーディオ・インタフェースと他の周辺機器との間の競合は、I/O アドレス、IRQ チャンネル、DMA チャンネルの設定状況によることが考えられます。コンフリクトを解決するには、オーディオ・インタフェースまたは他のISA アクセサリに対するこれらの設定を変更します。

8ビットまたは16ビット・デジタル・サウンドからの出力がない

これは、DMA チャンネルの設定状況、または、割り込みの競合が考えられます。オペレーティング・システムのオーディオ・コントロール・ソフトウェアによって、オーディオ・インタフェースのDMA チャンネルまたはIRQ 設定を変更してください。

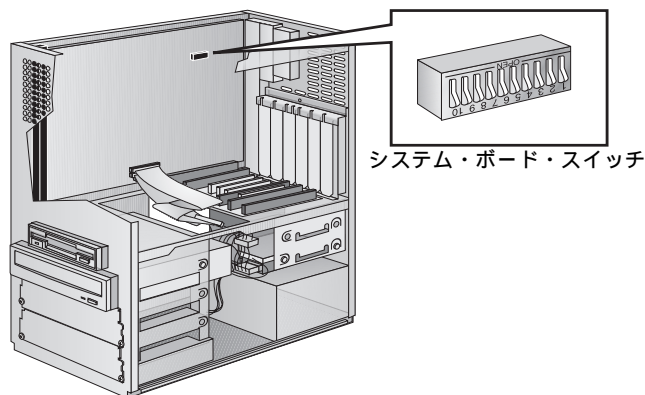
音が小さ過ぎる

本PCには、PC本体背面の Stereo Out、およびフロント・パネルのヘッドフォン・ジャックの2つの出力ジャックがあり、両方から同じ信号が出力されます。これらは低ひずみの出力であり、スピーカなどの低インピーダンス装置を(アンプなしで)駆動することができません。低インピーダンスの(32 より低い)装置を Stereo Out あるいはヘッドフォン・ジャックに接続した場合、音量は小さくなります。

- マイク入力からの音が小さい、または全くない
マイクroフォンの仕様が、16ビット・サウンド・コンポーネントの要求を満たしているか確認します。マイクroフォンは、600 エレクトレット・タイプのもが必要です。
- ハム・ノイズ
オーディオ・コンポーネントの電源ラインのアースが適切でないと、ハム・ノイズが発生しやすくなります。これは、PCとハイファイ装置を接続しているときに起こることがあります。すべての装置を隣接するコンセント(相互の間隔が5 cm以内のコンセント)に接続するか、またはライン・フィルタを使用します。
- 再生時にパチパチ音がすることがある
このようなパチパチ音は通常、音声サンプルをPCが要求された時間内に送れないことが原因です。解決法としては、遅いサンプリング速度を使用します。22 kHzにおける録音/再生の方が、44 kHzにおける録音よりもシステム・リソースに対する要求が低く済みます。
- 録音の際にPCがハン
グする
圧縮しないデジタル音声により、ハードディスクが一杯になることがあります。例えば44 kHzの分解能で録音された1分間のステレオ・サウンドは、約10.5 MBのスペースを占めます。録音を行なう前には、ハードディスクに十分なスペースがあるか確認してください。
- 圧縮により、データの占めるスペースを節約できます。オーディオ・インタフェースが使用するA-lawおよび μ -lawハードウェア圧縮は、16ビットの分解能で音のサンプリングを行ない、同じ量のデータを8ビット・サンプルとして生成します。

技術情報

システム・ボード・スイッチ



スイッチ	機能
1 - 5	プロセッサ速度(次の表を参照)
6	CMOS: Open = 通常の操作(デフォルト) Closed = CMOSのクリア(Setupプログラムのデフォルト値を再ロード)
7	パスワード: Open = 有効(デフォルト) Closed = ユーザおよび管理者パスワードをクリア/または無効
8	キーボード・パワーオン: Open = 無効 Closed = 有効(デフォルト)
9	予約 - 通常はOpenの位置にしておくこと BIOSの更新時に電源が切断された場合に使用(HP ウェブ・サイトから BIOS パッケージをダウンロードして添付のflash.txtを参照してください)
10	予約 - 使用不可 Closed (デフォルト)

プロセッサ 速度	スイッチ 1	スイッチ 2	スイッチ 3	スイッチ 4	スイッチ 5
350	Open	Open	Open	Closed	Closed
400	Open	Open	Closed	Open	Open
450	Open	Open	Closed	Open	Closed

電力消費

電力消費量 (Windows NT 4.0)	115V / 60Hz	230V / 50Hz
動作時	< 36 W	< 36 W
スタンバイ・モード	< 30 W	< 30 W
電源オフ	< 3 W	< 1.6 W

注記

フロント・パネルの電源スイッチで電源をオフにすると、電力消費は5W以下になりますが、ゼロにはなりません。本PCが採用するこの特殊なオン/オフ方式は電源装置の寿命を大幅に延ばします。電源オフ時の電力消費をゼロにするには、PCの電源コードをコンセントから抜くか、スイッチ付きの電源ブロックを使用してください。

ISAアクセサリ・スロットに対する標準的な電力消費/使用可能電力

+5 V	最大4.5 A/スロット(システム・ボードにより制限)
+12 V	最大1.5 A/スロット(システム・ボードにより制限)
-5 V	最大合計0.1 A(システム・ボードにより制限)
-12 V	最大合計0.3 A(システム・ボードにより制限)

PCIアクセサリ・スロットに対する標準的な電力消費/使用可能電力

+5 V	最大4.5 A/スロット
+12 V	最大0.5 A/スロット
-12 V	最大0.1 A/スロット

すべての電源供給レール間で、スロットあたりの最大電力消費は25 Wに制限されます。

音響ノイズ・エミッション

音響ノイズ・エミッション (ISO 7779に従って測定)	音響出力	音圧
動作時	LwA < 41 dB	LpA < 37 dB
HDDへのアクセス時	LwA < 41 dB	LpA < 37 dB
FDDへのアクセス時	LwA < 45 dB	LpA < 41 dB

物理的特性

特徴	説明
重量（キーボードとディスプレイを除く）	15 kg
外形寸法	幅 : 19.2 cm 高さ : 43.8 cm 奥行き : 44 cm
設置面積	0.085 m ²
保管時温度	-40 °C to 70°
保管時湿度	8% ~ 80% (相対湿度), 40°Cで結露なきこと
動作時温度	10 °C ~ 40°C
動作時湿度	15% ~ 80% (相対湿度)
電源	電源電圧: 100 ~ 127、220 ~ 240 Vac (一部のモデルに電圧選択スイッチが付属) 電源周波数: 50/60 Hz 最大電力: 145W (連続)

本 PC が使用する IRQ、DMA、I/O アドレス

<p>本PCが使用する IRQ</p> <p>ここで示した IRQ、DMA、I/O アドレスのマッピ ングは、基本構成 のPCに対するも のです。ご使用の PCのリソースは、 バンドルされてい るアクセサリ・ ボードによって異 なります。</p>	IRQ0	システム・タイマ
	IRQ1	キーボード
	IRQ2	システム・カスケード
	IRQ3	シリアル・ポートに使用しないとき空き
	IRQ4	イネーブルに設定されたときシリアル・ポートに使用
	IRQ5	パラレル・ポートに使用しないとき空き
	IRQ6	フロッピーディスク・ドライブ・コントローラ
	IRQ7	パラレル・ポートに使用しないとき空き
	IRQ8	リアルタイム・クロック
	IRQ9	ISAボードまたはUSBポートにより使用されないとき PCI デバイスに使用可能
	IRQ10	ISAボードまたはUSBポートにより使用されないとき PCI デバイスに使用可能
	IRQ11	ISAボードにより使用されないとき、PCI デバイスに使用可能
	IRQ12	マウス
	IRQ13	コプロセッサ
	IRQ14	内蔵 IDE ハードディスク・ドライブ・コントローラ
	IRQ15	2基めのIDEコントローラにより使用されないとき空き
<p>本PCが使用する DMA</p>	DMA 0	空き
	DMA 1	Setupでパラレル・ポートに使用しないとき空き
	DMA 2	フロッピーディスク・ドライブ・コントローラ
	DMA 3	Setupでパラレル・ポートに使用しないとき空き
	DMA 4	DMAチャンネル0～3のカスケードに使用
	DMA 5	空き
	DMA 6	空き
	DMA 7	空き

3 トラブルシューティング

技術情報

本PCが使用する I/O アドレス	96h - 97h HP による予約 170h - 177h, 376h IDE セカンダリ・チャンネル 1F0h - 1F7h, 3F6h IDE プライマリ・チャンネル 278h - 27Fh および 3A8h) パラレル・ポート 2E8h - 2EFh シリアル・ポート 2F8h - 2FFh シリアル・ポート 370h - 371h 内蔵 I/O コントローラ 378h - 37Fh パラレル・ポート 3B0h - 3DFh (3B0-3BB,300-3DF) 内蔵ビデオ・グラフィックス・コン トローラ 3E8h - 3EFh シリアル・ポート 3F0h - 3F5h, 3F7h 内蔵フロッピーディスク・コントローラ 3F8h - 3FFh シリアル・ポート 678h - 67BhECP モードを選択時にパラレル・ポート 778h - 77Bh ECP モードを選択時にパラレル・ポート
----------------------	--

HP サポートおよびインフォメーション・サービス

ヒューレット・パッカード社のコンピュータは、長期間にわたり故障無く使用していただけるよう高い品質と信頼性を念頭において開発、製造されています。ご使用のコンピュータ・システムが高い信頼性を維持し、また最新の開発成果に合わせてアップグレードできるよう、HPは全世界に正規販売代理店からなるネットワークを配置し、充実したサポートとサービスを行っています。

HPが提供する各種サービスとサポートについて詳しくは、次のHP Webサイトにアクセスしてください。

HP Vectra ホーム・ページ

<http://www.jpn.hp.com/GRP1/vectra/> (日本語)

<http://www.hp.com/go/vectra/> (英語)

サポート・ページ

<http://www.hp.com/go/vectrasupport/> (英語)

HP Web サイトには、次の情報ははじめとする HP 製品、各種サービスおよびサポートに関する幅広い情報が掲載されています(日本 HP の Web サイトでは、一部の機能は提供していません)。

- HP の各種サービスとサポートの内容
- 本 PC 用サポート・ガイド(HTML 形式)
- 本 PC に必要なマニュアル一式を収録した MIS キット(ダウンロード可能)
- 本 PC 用ドライバとソフトウェア

3 トラブルシューティング

HP サポートおよびインフォメーション・サービス

トラブルシューティング・クイック・リファレンス

PCが起動しないとき	<ul style="list-style-type: none">電源コードが正しく接続されていることを確認する電圧スイッチの設定が正しいか確認する
PCは起動するが、画面に何も表示されないとき	<ul style="list-style-type: none">ディスプレイが正しく接続され、スイッチがONになっていることを確認するディスプレイの輝度およびコントラストの調節をする
PCは起動するが、ハードウェアに問題があるとき	<ul style="list-style-type: none">HP DiagTools ソフトウェアを起動し、問題を分析する
PCは起動するが、コンフィギュレーション・エラーが発生したとき	<ul style="list-style-type: none">HP Setup プログラムを起動し、設定に関する問題を修正する
メモリ・エラーが発生したとき	<ul style="list-style-type: none">メモリ・モジュールのタイプを確認する (HP がサポートしていること、正しいソケットに装着されていることを確認)
マウスまたはキーボード・エラーが発生したとき	<ul style="list-style-type: none">電源コードが正しく接続されていることを確認するインストールされているドライバが正しいか確認するSetup プログラムで設定を確認するマウス・ボールを清掃する
フロッピーディスク・エラーが発生したとき	<ul style="list-style-type: none">動作確認済みのフロッピーディスクを使用してみるSetup プログラムでフロッピー・ドライブの設定を確認するケーブルが正しく接続されていることを確認する
ハードディスクまたは CD-ROM エラーが発生したとき	<ul style="list-style-type: none">Setup プログラムで設定を確認するケーブルが正しく接続されていることを確認するOS およびドライバがインストールされていることを確認する
CMOS エラーが発生したとき	<ul style="list-style-type: none">電源コードが接続されていることを確認する電源ケーブルがシステム・ボードに正しく接続されていることを確認するOS およびドライバがインストールされていることを確認する
シリアルまたはパラレル・ポート・エラーが発生したとき	<ul style="list-style-type: none">デバイスが接続され、オンラインになっていることを確認するドライバがインストールされていることを確認するSetup プログラムで設定を確認する動作確認済みのデバイスを使用してみる